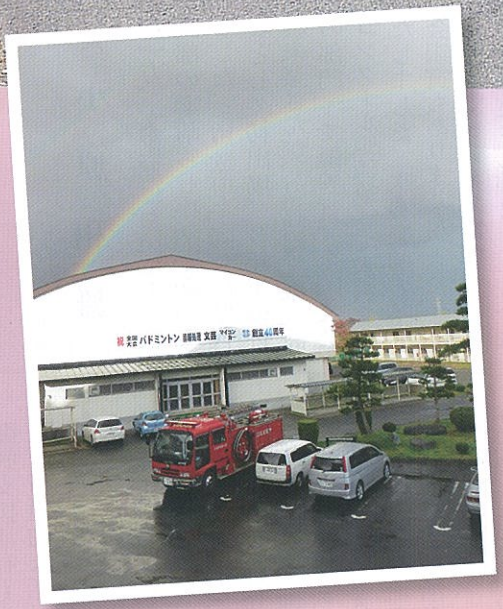
花北青雲PTA会報

第93号

発行：平成28年３月　花北青雲高等学校ＰＴＡ広報委員会



〒028-3172
岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割1825番１
電　話　(0198)45-3731(事)・3732(職)
ＦＡＸ　(0198)45-3745(事)・3746(職)
ＵＲＬ　http://www2.iwate-ed.jp/hkb-h/

感謝

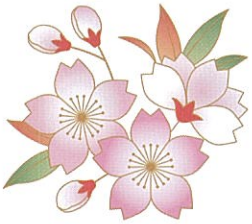
PTA会長　堀田圭二

3年生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。花北青雲高校で過ごした3年間は、学習では時代が求める専門知識を学び追求し、学校行事・部活動では仲間と共に挫折と達成を繰り返しながら友情を育み、自身の希望進路達成に向け、全力で学校生活を駆け抜けてきたことでしょう。急速に進んでいる社会変化に対し、本校で得た経験と信頼をそれぞれの進路で活かし、青雲魂を遺憾なく発揮していただきたいと思います。また、被災地復興支援活動で改めて命の尊さを学んだと思います。生きていること、育てていただいた周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今自分にできること、頑張ればできそうなことを積み重ねて、今はまだ遠くにある夢や目標に一歩ずつ近づいて行って下さい。

今年度のPTA活動は、母親・広報・環境整備・校外生活指導・学習のそれぞれの委員会で活発に取り組みを進め、会員相互の連携と親睦、生徒と先生方との交流を図ることが出来ました。また、全国高P連岩手大会にはスタッフとしてPTA会員の皆様に多数ご協力をいただき、お陰様で今年度も充実したPTA活動を順調に進めることが出来ました。

PTA会員の皆様、諸先生方、同窓会・地域の皆様方には1年間の活動にご理解とご協力をいただきましたことに感謝いたします。在校生の保護者の皆様には今後もPTA活動や学校行事に積極的に参加し、「一筋の道をゆく」学校・生徒を支えていただきたいと思います。

すべては子ども達の夢の実現のために



ご挨拶

校長　小原和雄

平成27年度、生徒諸君の文武にわたる多くの成果とともに、花北青雲高等学校は、実り多い年となりました。

8月の暑い最中に行われました全国高P連岩手大会は、お盆明けのお忙しい時期にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。盛岡大会の成功は、保護者の皆様のそれぞれの持ち場でのご支援・ご協力に尽きます。重ねてお礼申し上げます。

さて、今年1年を振り返ってみますと、部活動においては、バドミントン部の目を見張る活躍がありました。女子は高校総体2連覇、新人大会3連覇、男子も同様に、高校総体、新人大会ともに準優勝を飾っております。

また、女子サッカー部が高校総体、新人大会において第3位と健闘しました。高校総体ベスト8のソフトボール、男子卓球。新人大会ベスト16の男子サッカー。秋の花巻市長杯で花東に3対2で勝利し、優勝した硬式野球部等々、2016年に期待が膨らみます。

一方、文化部においても、文芸部の素晴らしい活躍がありました。「短歌甲子園」に県代表として初出場。3年生の佐藤未菜さんが、県高総文祭「詩の部門」で優秀賞、全国文芸コンクール「随筆」で入賞を果たしました。吹奏楽部の県大会銀賞もありました。

そしてビジネス情報科3年、大山恵実さんが2年連続全国高等学校情報処理競技大会に出場しました。珠算部2年生、来田桃子さんが個人の部で、全国大会出場もありました。また、全商英語スピーチコンテスト、暗唱部門で2年小原千奈さんが優勝、全国大会に出場しました。また、同スピーチ部門で1年工藤未楓さんが準優勝でした。一方、工学研究同好会2年、畠山航君がマイコンカーラリー全国大会に出場しました。他にも、家庭クラブホームプロジェクトの部、最優秀賞の2年根口朋美さん、チョリコン（調理コンテスト）製菓の部、最優秀賞2年髙橋拓花さん、お弁当の部、第3位2年熊谷千春さん、産業教育振興会研究論文県優秀賞、3年佐々木郁美さん等々、大収穫の年でありました。

復興支援活動も学年、学科による積極的な活動が展開されました。大槌高校への支援として、文化祭での収益金と全校生徒からの支援金を贈りました。7月には、3年生が宮古市田老に足を運び、震災から4年半を迎えた被災地を目の当たりにし、被災地について考える機会を作りました。総合生活科3年生による、大槌町・大槌高校との交流も4年目となり、継続的な活動をとおして学ぶことも多く、そこに大きな意義を感じております。

2016年、1月12日、始業式で生徒の皆さんに話したことを一部、紹介いたします。

「爽やかな挨拶」「歯切れのよい応対」「着崩しのない整容」これは、花北商業時代から現在まで継承されてきた「正の遺産」です。「伝統」も「部活動の成果」も、築き上げるには長い年月を要します。築くには時間がかかりますが廃れるのは、あっという間です。このことを再認識してほしいと呼びかけました。

結びに、卒業生の保護者の皆様に心からお祝い申し上げます。そして、3年間の学びと思い出を胸に卒業される卒業生の皆さんが、それぞれの道で、健康でご活躍されることをご期待申し上げます。

高P連母親交流会に参加して

母親委員会副委員長　中村琴美

10月28日、サンセール盛岡にて開催されました。午前中は岩手大学の理事（副学長）で地域連携・男女共同参画担当でもある、菅原悦子先生の講演会でした。「食べることは生きること」という題で、家庭や地域での食育の大切さを理解し、実践しましょうという内容の講演でした。題名を見た時、岩手県の自殺での死亡者数が全国第1位になっていることを思い出し、とても興味深く聞いていました。特に朝ごはんの大切さでは、だれと何を食べたのかということでした。朝は忙しくて一人で食べている子も多いそうです。楽しく食べること（一人で食べる時、鏡を見ながら食べてもいいそうです）できれば4皿くらいは食卓にあったほうがいいそうです。そして一日の中で一回は、家族みんなでできればテレビやスマホは切って、食べることが大切とのことでした。食文化を大切にした食育ということで、郷土食を伝えていくことも必要とのことでした。

午後は全体協議で、本校の母親委員長の畠山明美さんの発表と、葛巻高校の母親委員の長朶（ナガタ）さんの発表でした。畠山委員長の発表では、母親委員会主催の研修会や、中部地区での母親交流会、PTAの活動報告、生徒たちが商品開発した試食会のことや、青雲祭でのおふくろ亭での八重山そばを出店することになったきっかけ等の報告がありました。葛巻高校の発表は、PTA活動の報告でしたが、中でもPTA役員による就職希望生徒への面接指導が行われていることがとても印象的でした。その後、グループ別に分かれ話し合いをし、それぞれ発表がありました。

この交流会に参加して、とても勉強になりました。他校での活動内容がわかったこと、親の子供たちへの愛情をすごく感じた一日でした。

PTA研修旅行

学習委員長　藤原秀樹

11月13日㈮、小原学校長他、先生方5名、保護者35名の参加により、宮城県方面へのPTA研修旅行を実施致しました。

今年は、8月に開催された「全国高等学校PTA連合会岩手大会」へ協力して頂いた事への慰労も兼ねて計画を致しました。

学校を出発し、見学先のキリンビール㈱仙台工場へと向かいました。到着後、工場見学を行い、昼食も仙台工場内で取りました。その後、今年の5月に閉館した「マリンピア松島水族館」を受け継ぐ形で7月1日に開業した「仙台うみの杜水族館」に向かいました。飼育員や生物もそのまま受け継いで運営しているそうです。平日にも関わらず、子供連れの家族や、小学生が多く来館していました。その後、近くの「三井アウトレットパーク仙台港」で休憩・買い物をし、事故も無く帰ってくる事が出来ました。

先着40名という事で御案内しましたが、参加希望者が多く、申込締切日前日に締め切らせて頂きました。

PTA研修旅行は、全学年の保護者の方々と先生方が参加されますので、学年を超えて親睦を深める事が出来る行事です。今後も、開催される事と思いますので、ぜひ、たくさんの保護者の方に参加して頂きたいと思います。

最後に、しおりの作製や旅行手配等、準備して頂いた先生方に感謝致します。

おふくろ亭（青雲祭）

母親委員会委員長　畠山明美

10月18日に開催されました花北青雲高校文化祭に、私たち母親委員会は、食堂「おふくろ亭」を出店し、沖縄の「八重山そば」をメニューとして、訪れる皆様に販売しました。

「八重山そば」とは沖縄県の八重山地域全般で食べられているそばで、そばと言っても日本そばではなくラーメンに近い太麺のモチモチした食感が特徴で、スープはあっさりとしていますがコクがあり、一度食べると病みつきになる味です。食材のほとんどを沖縄県の業者から仕入れており、作り方も本場とほぼかわりありません。出来上がりはかなり本格的なものになっていると自信を持って言えます。さらに「おふくろ亭」で出される「八重山そば」は、母親委員のお母さん達が日頃から鍛えている料理の腕前と、こっそり出掛けるランチの食べ歩きで完成された舌、そして何よりもたっぷりの愛情が注がれ、最強の「八重山そば」が出来上がっている事はまちがいありません。

沢山の方々に御協力していただき、今年の「おふくろ亭」も「八重山そば」300食を完売し無事終了する事ができました。終了後の反省会では、早くも来年に向けての改善点が出され、来年の「八重山そば」は今年以上の出来栄えが期待されそうです。来年は一般の来客として「おふくろ亭」にお邪魔し、「八重山そば」をゆっくりと味わう事を今からとても楽しみにしています。

一筋の道をゆく我等

短歌甲子園

短歌甲子園を振り返って

2年A組　川村　姫華

私たちは8月19日から21日の間、全国高校生短歌大会へ出場して来ました。

1日目の題詠ツアーではボランティアの方々のガイドと共に、啄木の歩いた道を辿り、啄木の過ごした家や学校を見たあと、展望台に行き盛岡を見渡し、盛岡城を巡りました。4時間という時間で行動をしたのですが、その間に題に沿って2句詠むということに大変苦戦しました。仲間と確認し合って少しでも良い作品にしようと時間の許す限り全力を尽くしました。

2日目からの大会では、ディベートにより勝敗が決まることもある、ということを実感しました。作品だけではなく、それを作るに至った経緯や思いをどれだけ人に伝えることが出来るか。作った本人から直接聞けるというのは新鮮な感覚でした。私たちは初戦敗退でしたが、沢山学ぶことができたと思います。

3日目は決勝リーグを見学しました。人による感性の違いによって同じ題でも全く違った作品になるということがよく分かりました。自分では気付けないところに目を向けていたり、3行で作る、という特徴的な短歌の区切り方など、凝り固まった考え方ではいけないのだな、と感じました。決勝戦に近付くにつれてレベルが高くなっていき、見ている私たちも徐々に上がるテンションに、短歌はまるで「スポーツのように熱くなるものだ」と感じられました。

初めての参加ということもあり、ディベートに慣れておらず、うまく話せないところがありました。歌作りでも、語彙を増やし自分達の感性を言葉に表せるようにしたいと強く思いました。全国の舞台に立ち、短歌というものの奥深さを感じました。今回学んだことを活かし、部員と協力して2度目の出場が出来るように努力していきたいです。

バドミントン部女子 新人戦優勝

県新人戦を振りかえって

2年B組　外川　実空

私達女子バドミントン部は、9月から1、2年を主体とする新チームとなり、新たな環境での活動が始まりました。私達の後期の目標は、新チームで県新人戦団体優勝・東北大会3位入賞し全国選抜の権利を獲得することです。

そのために練習では試合本番を意識した取り組みをし、合宿の量も増えたことでチーム力も上がり雰囲気も高まりました。

10月30日から11月1日に行われた岩手県新人バドミントン大会では、目標としていた団体優勝を達成することができました。決勝戦では前沢高校と戦い、第2ダブルスを取られ内容としては悔いが残る試合でした。それでも3－1で勝つことができたのは普段の練習で指導して下さる先生方、ヒッティングパートナーとして来て下さるOBの方々や3年生、毎日影で支えて下さる保護者の方々など、たくさんのサポートがあってこその新人戦優勝だったと思います。本当にありがとうございました。

次は、1月22日から始まる東北大会に向けてさらにチーム力をあげて個々の力も十分に伸ばし戦ってきたいと思います。

これからも応援よろしくお願いします。

岩手県高等学校文化連盟賞を受賞して

3年D組　佐々木　杏奈

昨年の文芸コンクールの「詩部門」において、県では優秀賞、全国では優良賞をいただいたことを受け、今回連盟賞という素晴らしい賞をいただくことができました。顧問の先生方のご指導や部活の仲間との切磋琢磨が、この賞につながったのだと思います。

今回の受賞理由の中には、東北大会で県代表として詩を朗読したことも含まれています。県代表という責任、多くの人の前での朗読。かなりの緊張で東北大会に臨んだことを今でも覚えています。創作している時には、文字に起こす言葉に思いを込めることに終始しましたが、朗読となると、その思いを発する言葉に込めることになり、普段と違う作業に自分の詩ながら苦戦しました。

しかし、顧問の先生から毎日のように朗読のご指導をしていただいたおかげで、本番では最後までやり通すことができました。

私の所属する文芸部は先輩後輩の仲が良く、日頃から互いの作品をより良いものにするため、それぞれの作品に関心を持って声を掛け合ってきました。それが昨年のコンクールでの受賞にもつながったのだと思います。部内では副部長として、日々の活動内容の向上や文化祭などの作品展示の構成を、部長と相談し率先して行いました。口調が強くなることがあったので、後輩たちには少し怖い先輩と思われていたかもしれません。しかし、みんな笑顔でしっかりと指示に従い動いてくれました。そういった面でも、私は部活の仲間に恵まれているのだと感じます。

3年生になり、部活はもう引退です。この場をお借りして、日々の活動を日頃から応援してくれた家族、温かい励ましの声を掛けてくださったたくさんの保護者の方々、クラスの仲間に感謝いたします。また、顧問の先生方、部活の仲間たち、1、2年の時に叱咤激励をしてくださった先輩方に心から感謝いたします。たくさんの方々に支えられ、連盟賞をいただけたことを誇りに、これからも可能な限り創作活動を続けていきたいと思います。

東北六県高等学校珠算・電卓競技大会に臨んで

2年B組　来田桃子

私を含め、珠算部員3名は11月7日に福島県郡山商業高校で行われた東北大会に出場しました。私にとって東北大会に出場できるのは、今年が最後なので、一つでも入賞したいと考えていました。

個人総合競技が終わり、種目別競技が始まりました。読上暗算競技では、順位決定の直前まで残っていたのが4人だけだったので、「ここで落ちるのは嫌だな」と思っていました。でも、隣の人と交換採点をした時に、隣の人が間違えたので、正直ほっとしました。そして、2位に入賞できたので嬉しかったです。

読上算競技では、予選通過した人が多かったので、入賞は無理だなと思っていました。けれど、気づいたら人数がどんどん減っていって、なんとか3位に入賞することができました。

大会が終わり、普通計算と応用計算の点数を見てみると、練習の時に比べて点数が低かったので、6月の大会では、練習と同じくらいの点数がとれるよう頑張りたいです。

また、団体戦としての3人の成績は、レベル的にまだまだなので、6月の大会までには各自で改善すべき点を改善し、今回よりも良い結果を出せるようにしたいと思います。

国際理解講演会

1年C組　田中舘希帆

懸命に生きる人々～日本人こそ学んで欲しい～の講演で、とても大切な事を知れたように感じます。

日本は豊かだから、1日3食のごはんを食べる事があたりまえ、テレビを見るのもあたりまえ、学校に行くのもあたりまえ、そんな「あたりまえ」が、自分の中にあるのを今回の講演で、思い知らされました。

私は講演の中のビデオを見て、涙がこぼれました。生きるのだけでも、精一杯なはずなのに、勉強したいと言う子供たち。それに対して、めぐまれた環境があるのに勉強から逃げている自分。とても、やるせないと思いました。自分が恥ずかしいと思いました。

私は心から何かに感謝したことは、多分一度もないと思います。感謝ができないというだけで、こんなに、ツライという事を私は今まで知りませんでした。知っても、すぐに心から感謝をすることは、出来ないとは思いますが、厳しい環境で生きる人たちに恥じないように生きようと思いました。

3年C組　照井登姫子

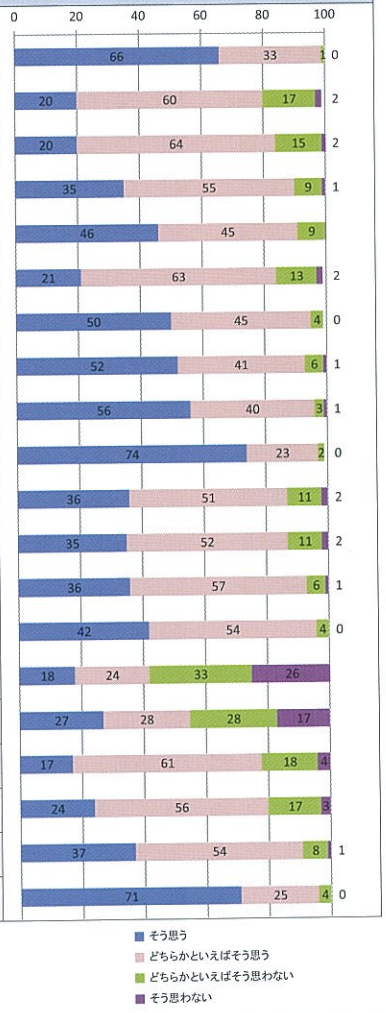
今日の講演会は、私が今の生活や親に対して忘れていた感謝の気持ちを気づかせてくれました。きれいな水や食料がある環境。学校へ行き学べること。親から愛情を与えられること。これまで当たり前だと感じていたものに感謝の気持ちがあふれてきました。「感謝こそ生きる力」という言葉を池間さんが言っていましたが、その通りだと感じました。一生懸命生きることが恩返しになるのだと気づきました。また、講演会で印象に残ったのはひどい環境のなかでの子供たちの笑顔と困難を乗り越えて幸せを感じている人々の笑顔です。ボランティアというと自分たちが何かをしてあげる、助けてあげるという意識がありましたが、子供たちや人々から与えられることの方が大きいと思いました。私も今日の講演会の写真の子供たちから、いろいろ教わりました。幸せは今の状況に感謝をし、幸せを感じる力をもつことです。私もその力をつけていきたいです。

学校評価に係る保護者アンケート集計

保護者対象学校評価
①そう思う　②どちらかといえばそう思う
③どちらかといえばそう思わない　④そう思わない

全学年(%)
回収率　96.3%

	評価指標	①	②	③	④	無回答
1	【総合】本校は、工業科、商業科、家庭科の総合的な専門高校として特色が出ていると思いますか。	66	33	1	0	
2	【学校】本校は、生徒一人一人を理解し、成長させるため、家庭とうまく連絡がとれていると思いますか。	20	60	17	2	
3	【PTA】PTA活動が活発で、保護者とも良い関係になっていると思いますか。	20	64	15	2	
4	【学習】進路希望による科目選択ができ、生徒一人一人に対応した授業が行われていると思いますか。	35	55	9	1	
5	【学習】各種資格や検定を取得するための情報提供や指導が十分に行われていると思いますか。	46	45	9		
6	【学習】学習の目標が明確で、工夫された学習活動が行われ、わかりやすい授業が行われていると思いますか。	21	63	13	2	
7	【生活】整容（服装）指導が適切に行われていると思いますか。	50	45	4	0	
8	【生活】生徒は、あいさつやマナーが良いと思いますか。	52	41	6	1	
9	【生活】学校行事（体育祭・青雲祭など）が充実しており、生徒会活動などに一生懸命取り組んでいると思いますか。	56	40	3	1	
10	【部活動】生徒は、部活動に一生懸命取り組んでいると思いますか。	74	23	2	0	
11	【進路】本校は、進路についての情報提供や資料配付について、よく取り組んでいると思いますか。	36	51	11	2	
12	【進路】生徒の適性や希望に応じた進路指導を行っていると思いますか。	35	52	11	2	
13	【厚生】生徒の健康や安全・衛生面についてきちんと対応していると思いますか。	36	57	6	1	
14	【厚生】教室や廊下など清掃、整理整頓が行き届いていると思いますか。	42	54	4	0	
15	【図書】自分の子どもは学校図書館を利用していると思いますか。	18	24	33	26	
16	【図書】自分の子どもは読書に親しんでいると思いますか。	27	28	28	17	
17	【教育相談】本校は、生徒の抱える様々な悩みに、親切に対応していると思いますか。	17	61	18	4	
18	【情報】刊行物やホームページなどで、学校内の情報が適切に伝わっていますか。	24	56	17	3	
19	【施設】本校は施設・設備（図書館・実習棟・体育館など）が整備されていると思いますか。	37	54	8	1	
20	【総合】本校に入学させてよかったと思っていますか。	71	25	4	0	



スピーチコンテストに参加して

2年C組　小原千奈

私は2015年10月24日に開催された、岩手県商業高等学校英語スピーチコンテストに出場しました。昨年も私はこの大会に出場しました。その時の結果は、4位という結果で非常に悔しい思いをしました。今回の大会は、前回のリベンジも兼ねてでした。

原稿を渡されたのは7月でした。私はレシテーション部門の出場希望だったので、渡された5つの原稿のうち一つを選びました。「A Japanese Folktale」という題名で、お金に貪欲な宿の女主人がある日宿泊しに来たお金持ちの男を、ショウガをたくさん食べると物忘れをするという言い伝えを使って、男の持っているお金を自分のものにしようと作戦を実行しますが、結局失敗してしまうという話です。この原稿を選んだ理由は、他の4つの説明文のようなものと違ってきちんとストーリーや感情があり、話の内容が伝えやすいと思ったからです。

本格的に練習が始まったのは9月の中旬頃でした。本格的といっても週3～4日の放課後に1時間する程度でした。猪股先生に発音やイントネーション、文の区切りなど基本を教えていただき、パイパー先生にネイティブの発音、ジェスチャーなどを教えていただきました。その後は、暗唱をしてタイムを計って練習することを繰り返しました。この原稿を読む中で一番難しかったのは、登場人物の感情を表現すること、ナレーション、女主人や金持ちの男の区別をつけさせるというところでした。声のトーン、声の大きさ、読むスピードで変化をつけ区別をしました。

また、この話は面白い話なので明るく元気に笑顔で読むことは、疲れていても、嫌なことがあっても、緊張していても共通だったのが大変でした。

本番では、発表直前まで緊張していたのですが、台に乗り発表し始めると緊張は消えていきました。いつも練習している場所だったということも大きかったと思っています。ミスもなくいつも通りの発表ができました。結果が発表され1位だということを知り、小原和雄校長先生から賞状を頂いた時の喜び、感動は言葉では表せません。昨年の思いは晴らせたと思っています。

そして、1月10日の全国商業高等学校スピーチコンテスト本番になりました。さすがに全国となるとレベルが高く、私は全力でミスのない発表をしましたが、決勝の12人に残れず終わりました。格の違いを感じました。来年またリベンジできたらと思っています。

今回、私がこんな素敵な賞を頂くことができたのは、ご指導して下さった猪股先生、パイパー先生、応援して支えて下さった先生方、友人達のおかげだと思っています。心から感謝しております。ありがとうございました。

県商業高英語大会

小原さん(花北青雲)が暗唱優勝

スピーチは佐々木さん(水沢商)

暗唱部門優勝の小原千奈さん（左）とスピーチ部門優勝の佐々木ダイアンマリーさん

県商業高校英語スピーチコンテスト（県高校商業教育協会主催）は24日、花巻市石鳥谷町の花北青雲高で開かれ、暗唱部門は同校2年の小原千奈さん、スピーチ部門は水沢商2年の佐々木ダイアンマリーさんが1位に選ばれた。2人は来年1月に東京都で開かれる全国大会に出場する。

計14校から暗唱部門に19人、スピーチ部門に13人が出場。発音や抑揚の正確さを競いつつ、目線や自然な身ぶりを交えてそれぞれの演題に心を込めた。

2年連続1位に輝いた佐々木さんはスピーチで母への感謝を伝えた。「フィリピン生まれで文化、言語の違いに苦労しながらも女手一つで私を育ててくれた。早く報告したい」。小原さんは「練習の成果を出せた。将来は英語を使う仕事に就きたい」と夢を描いた。

2人を除く入賞者は次の通り（かっこ内の数字は学年）。

◇暗唱部門▽2位 木内海葵（盛岡誠桜1）▽3位 松尾玲奈（北上翔南2）▽4位 駒米佳奈美（宮古商2）▽5位 小原莉世（水沢商2）▽6位 山根あかり（宮古商1）

◇スピーチ部門▽2位 工藤未楓（花北青雲1）▽3位 千葉彩乃（北上翔南2）▽4位 吉川涼太（盛岡誠桜3）▽5位 対島亮平（同1） 鈴木茉琳（盛岡商2）

岩手日報　平成27年10月25日

1学年

救急法講習会を受講して

1年A組　木村　諒司

今回の講習会で学んだことは大きく分けて3つあります。1つ目は、心肺蘇生とAEDの使用方法についてです。1度、一通りの手順を聞き、実際に一人一人やりました。中学校の時にもやったことがあるので、手順はだいたい覚えていましたが、やはり難しいなあと思いました。特に胸骨圧迫が大変でした。僕はあまり力強いほうではないので、強く速くというのには苦労しました。しかし、看護学校生の方が最初から最後まで丁寧に教えてくださってとても心強かったです。2つ目は、さまざまな人の運び方についてです。道具を使った運び方から使わずにやる運び方までさまざまな種類の運び方を教わりました。毛布と長い棒だけで担架を作れることには、とても驚きました。自分は毛布だけでやる運び方を試してみました。予想以上に安定感があって、すごいなあと思いました。どんなところでもできそうな運び方ばかりなので、覚えておきたいと思います。3つ目は、三角巾を使った簡単にほどきやすい結び方です。けっこう難しくて何度も失敗しましたが、最後にはうまく結び目を作ることができたのでよかったです。この方法で骨折の応急処置ができるようなので、しっかり覚えたいなと思いました。今回の救急法講習会で、心肺蘇生法をおさらいでき、また、新しいこともたくさん知ることができたので、何かあった時のために忘れないでおきたいです。とてもたのしく学習できてよかったです。

1年B組　畠山　華歩

東日本大震災を経験してから、私は防災意識を高くもつようになった。今回の救急法講習会を受講して、人の命を救う知識を新たに身につけることができた。しかし、一人だけの力で助けるのはとても大変だから、周りにいる人たちの協力も必要だということを再確認した。また、119番通報をして、ずっと救急車を持つのと、その場にいる人たちで胸骨圧迫や人工呼吸を行なうだけで2倍も生存率が違うということにおどろき、絶対に行ったほうが良いと思った。

今回の受講で、医療に対しての知識が少ない私たちでも人を救うことができるんだなと思った。胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの正しい使い方をちゃんと知っていれば、私たちの力で救えると思うと、今回の受講はとてもためになるものだった。絶対に忘れないようにしたい。そして、実際に人を救うことができたら、習っていてよかったなとやりがいを実感できるだろうなと思った。

よく、腕を骨折して白い布でつってる人を見かけるが、あの布にもきちんとした折り方があることを知った。少し複雑だけど、適当に折っているのではなく、正しい折り方があって少しおどろいた。結び方も様々あって、しっかり結んだはずなのに簡単にほどけてしまって、びっくりした。結び方はすごく簡単なので、いざという時に実践できると思った。

ケガをした人などを運ぶ時、担架を使うという印象が多いけど、人力だけで運べたり、身近にあるものを運ぶこともできる。これも、すぐに実践できることなので、しっかり覚えておきたいと思った。

いつ、どんな時に災害や事故などが起こるかわからないけど、様々な救急法を覚えておけば、私たちも人の命を助けることができるかもしれない。この受講がむだになることは絶対ないから、これからも色々な知識を増やしていき、人々を救っていきたいと思った。そして、日頃から、助け合いができるような世の中になっていってほしいと願っている。

1年C組　藤原未沙希

今回、救急法講習会を受講してみて、私は中学校の頃に心肺蘇生法とAEDの使用についてはやったことがあったので、改めて復習することができて良かったです。また、心肺蘇生をするかしないかで結果が大きく違い、命が助かる確率が約2倍も上がると聞き驚きました。やはり、ただ救急車を待つだけではなく、応急処置をすることが大切なんだなぁと思いました。

止血法や搬送などは初めてやりました。止血法では、感染などしないよう直接血液にふれないように工夫したり、搬送では、けがをしている人になるべく負担をかけないような運び方をしたりすることが大事だとい

うことがわかりました。
今回は、多くの人に見られながらやって、恥ずかしさがありましたが、いざという時に恥ずかしがってはいられないので、命を優先して考えて行動しなければいけないと思いました。今回、習ったことを忘れずに、万が一何かあった時は対応していきたいです。このような機会をなかなか無いと思うので、とても良い経験になりました。

2学年

インターンシップを体験して

㈱中央コーポレーション

2年A組　田中舘快努

この度は、3日間にわたり、お忙しい中大変貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。日頃学習をしていることが実際の仕事場で活用されているのを見て、今まで学習してきた事の理解が深まり、さらに知識を深めたいという気持ちになりました。私がインターンシップで最初に感じたのは一つの物を作るのに多くの人が携わっているという事です。私が生活している中では、出来上がったものしか見ていませんでしたが、今回製造している所を見た事。また体験させて頂いた事で物が出来上がるまでの苦労などを知る事が出来ました。

工場で仕事をする上では、観察力が大切となり、何の仕事をするにしても任せてもらえるようになるには、積極性が必要となることがわかりました。また早く仕事を覚えるためには、理解力が必要となる事を体験し、感じ取る事が出来ました。当たり前の事を当たり前に出来る事の大切さも感じました。作業の合間や作業後には掃除をし、機械を磨くなど、当前の事ではありますが、する事により作業環境を良くしたり、周りを見る力になると思いました。当たり前の積み重ねで仕事がうまくいったり、良い製品を作れたり、また、それがないと出来る事も出来なくなってしまったりと繋がるものがあると思います。

今回のインターンシップは私にとって、とても刺激的なものになり、私も日本を支えるエンジニアの一人として社会に出て社会に貢献できるような人へと成長していきたいと思いました。そのために勉学や資格取得など目の前にあるものはもちろん、先の事を見据え、生活していきたいと思います。3日間本当にありがとうございました。

花巻ガス㈱

2年C組　菊池　宇海

2日間花巻ガス株式会社で就業体験を経験しました。私はもともと事務職に就きたいと考えていましたので、今回職場の雰囲気を見ることができてとても参考になりました。参考になった点は2つありました。

1つ目は、時間をきっちり守るという点です。高校と同様、朝・昼のチャイムがあり、職員の皆さんは5分前に準備ができており、仕事がスムーズに始められるようになっていました。社会で働くようになっても、時間を守ることは大切なことだと改めて感じたので、高校でも意識を高くもって生活していきたいと思いました。

2つ目は、仕事内容です。朝から夕方までパソコンと電卓に向き合い、更に、電話対応等、同時に複数の仕事を受け持っていました。希望は事務であったものの実際の仕事はどのようなことをしているのか知らずにいました。そのため、間近で見れたことはとても参考になりました。そして、たくさんの仕事をする職員の皆さんは頼もしく、その姿に憧れました。

私は今回のインターンシップを終えて、事務系のお仕事に就きたいという思いが以前より強くなりました。静かな雰囲気の中で黙々と作業に取り組む姿に魅力を感じました。事務は表舞台で活躍することはなかなかないけれど陰で会社を支えている素晴らしいお仕事でした。私が体験させていただいたのは、主に押印作業と簡単なデータ処理でした。押印作業は意外と難しくてムラができてしまったり、文字がきれいに押せなかったりと苦労しました。ハンコをたくさん押すだけで筋肉痛になったりと簡単に見える作業も大変だと実感しました。

花巻ガスの皆さんは、とても優しく指導して頂き、貴重な体験もたくさんさせて頂きました。楽しかったです。今回は本当にありがとうございました。

3学年

金融経済セミナーを受講して

3年A組　千田　雄大

今回は講演をして下さりありがとうございました。私は高校を卒業した後、東京の方に就職するのですが、丁度お金のことについて考え、悩んでいたりしたので今回の講演はありがたかったです。今回の講演を通して思ったことは日頃から計画性をもって、お金を使ったり、貯めたりしなければいけないということです。お金を貯めるコツとして、金融に関する正しい知識を覚えるということがあって、確かにそうだと思いました。金融用語をしっかりと把握していれば変なトラブルなどがあって、それに関わる難しい言葉がでてきても、すみやかに対処していくことが出来るからです。また、アクシデントに備え、保険に加入することも大切だと思いました。いざ事故などを起こしたときに保険に加入していなければ、後々、大変なことになっていくからです。保険についての知識も足りないと思うので、そのようなことも勉強しておきたいと思いました。途中で行った家計管理ゲームはとても勉強になりましたし、またとても面白かったです。私はあまり負けることがなく、最終的な貯蓄残高が６６５万円になったので、私の人生もこんな感じになれば良いのになと思いました。まあ、現実はそれほど甘いものではないのですが。今回の講演で学んだことをこれからの生活で活かしていきたいです。

3年B組　福山　哲平

今回の講演を受けて、計画を立てていくことの大切さを学びました。自分自身でお金を管理したことも少なく、あまり自信がないです。ですが、今回のセミナーを通して、自分の結果から実際に手元へ残る金額はいくらなのか、そして、それをどう分配していくのか。計画を立てることで余分なお金をカットしたり、貯金も効果的に行えるのだと分かりました。ゲームを通してキャッシュフロー（お金の流れ）を少し学べた気がします。これから、自分で分からないこと、解決できないことが生じた場合も、このワークブックを利用していきたいです。自分で判断していけるよう、そのための知識を身につけていきたいです。夢、希望、お金、健康、どれが欠けてもいけないと聞き、本当にその通りだと思いました。稼いで、貯めて、上手に使っていくこと、そして、そのための家計管理力、金融知識（リテラシー）を理解していきたいです。

自分がこれから大学生活を送ろうとしたときに、お金を管理して、勉強と両立していく難しさも分かってきて、しっかりとした準備をしていきたいです。

最近、スティーブン・R・コヴィーさんの７つの習慣を読んでいて、期間は１週間ですが計画していくことの大切さを知りました。私も、キャッシュフローを行っていきたいと思いました。心のやすらぎを得るために、生きること、学ぶこと、愛すること、貢献すること、これらを大事にしていきたい。心の声に従い、正直に、謙虚に生きていきたい。将来のビジョンを明確にしていき、一週間で計画を立てながら、視野を広くしていきたい。リスクを恐れて、行動を起こさないのではなく、自分の良心に従って、最優先事項は何かと自分に自問しながら、生きていきたい。応急処置など、物事の原因が何も解決しないことに労力や時間をついやすのではなく、自分が本当にリラックスできること、本当にしたいことに時間と労力を注いでいきたいと感じました。

3年C組　鷹觜　美咲

今日の講演を聴き、お金の使い方など大切なことをよく知ることができました。キャッシュフロー表を実際に記入して、好き勝手にお金を使うのではなく、将来のことをしっかり考えながら使うことが大事だと感じました。私は高校卒業後、就職するので、お金の管理は遠い話しではないと思います。給料をもらったら、欲しいものをすぐ買いたくなったりして、金遣いが荒くなってしまう人もいるかもしれませんが、定期的に貯金した方が将来のためになるので、私は貯金をこまめにしていきたいと思いました。また、病気やけがをしたときのために、保険に加入することも大事だ

と思いました。ですが、保険契約の注意点を頭に入れておきたいです。そして、契約を盾にだます悪質商法に気をつけたいと思いました。契約には書類と印鑑は必要なく、合意だけで契約になるということを聴き、注意しなければならないと思いました。また、ローンを組む際も、計画や支出のバランスを考え、組んでいきたいと思いました。返すのはとても時間がかかるので気をつけたいです。今日は、将来の暮らし方や金銭管理、生活のリスクに備えること、お金のトラブルについて、たくさんのことを知ることができました。将来に役立てていきたいです。

今日は、ありがとうございました。

3年D組　戸来　涼

今日のセミナーを受講したことで、現在の私は経済についての知識がなかったということを実感しました。お金のやりくりは両親に頼ってばかりであったため、セミナーを通して経済について学んでみると初めて聞いた言葉やシステムがたくさんありました。このセミナーの中で、最も印象に残っているのは、キャッシュフロー表の制作です。この活動を通して、お金のやりくりの大変さが分かりました。大きな支出があった場合に、今日のゲームでも少し落ち込んでしまいましたが、もしも現実でそのようなことが起これば大変なことになってしまうと感じました。また、キャッシュフロー表を制作することによって、目に見える形でお金の管理ができるため、とても効果的であると思います。この表を作成することは最初は難しそうに感じましたが、練習を重ねていくうちにやり方が分ったので、来年からの新しい生活で活かしたいです。更に、セミナーでは保険に加入する際の注意点や悪質商法についても詳しく学ぶことができました。保険に加入する際にも多額の費用が必要であるため、今日いただいた資料にしっかりと目を通して、吟味して選択していきたいと思います。また、お金のトラブルに巻き込まれることがないように、お金の使い方は慎重に行うように今後の生活の中で心がけていきたいと思います。

一年間の軌跡

【情報工学科】

マイコンカーの全国大会に出場して

2年A組　畠山　航

私がジャパンマイコンカーラリーの全国大会に出場するまでには、様々なことがありました。

まず、去年の1月に先輩から「来年はお前が全国大会に行くんだ。頑張れよ。」という言葉を頂き、それから車体の設計を開始して、その後プログラムに移りました。しかし、簡単には走ってはくれませんでした。それから車体とプログラム両方の改良を重ね、部活動での走行で先輩と同じくらいのタイムまで速度を上げるところまで行き、地区大会がやって来ました。

地区大会では、私は無事完走して記録を残し、全国大会の出場枠に入ることが出来たのですが、先輩はコースアウトしてしまいとても悔しがっていました。その悔しさの分まで頑張ってこようとその時に決意しました。

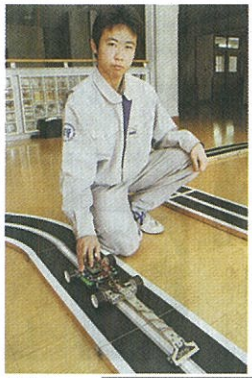
そして全国大会を迎えましたが、車体の状態は出発直前に破損する箇所があり、とても万全とは言えませんでした。それでも記録を残そうと頑張りましたが、残念ながら記録を残すことは出来ませんでした。しかし、他校の車体を見て、自分の車体に取り入れられそうなことを学んだりと、確かな成果を得ることが出来ました。

来年は部内で出場権の取り合いとなりそうなので、仲間として、ライバルとして、お互いを高め合って行こうと考えています。その戦いを勝ち抜いて私は再び全国大会の舞台に立ちたいと思います。

マイコンカー全国舞台へ

来月、初の出場

「完走目標」入念に調整



花北青雲高の畠山航君（2年）

花巻市石鳥谷町の花北青雲高情報工学科の畠山航君（2年）は、来年1月9、10の両日、東京都八王子市で開かれるジャパンマイコンカーラリー2016大会（全国工業高校長会主催）に出場する。初めての大舞台で「完走してまずは記録を残したい」と入念な調整を続けている。

マイコンカーは車体前方のセンサーが走路を感知し、人が操縦しなくてもコースに沿って自走するようプログラミングされた手作りのマシン。同校では工学研究同好会が部活動などで製作し、3年前から大会に出場している。

同校の体験入学でマイコンカーに興味を持ち、すぐに入部を決めた畠山君。1年の時からのめり込んだ。昨年出場した北東北地区大会では、惜しくもコースアウトで全国大会出場を逃した。

記録を残せなかった悔しさと「来年は全国へ行けよ」との先輩の励ましが、再挑戦への奮起となった。新たな車体製作に創意工夫を重ね、今年11月に秋田県で開催された国大会で上位3校に入り予選通過、個人成績6位を獲得した。全国大会はクランクが多いなどコースが複雑なため、10分程と長く、綿密なプログラミングが不可欠になる。本番に向け、最低限の強度をばねになった。新たな機体を軽量化、さらに地面すれすれまで重心を下げて空気抵抗などを減らし、無駄のない走りができるよう調整している。

カーネームは「ヴェールヌイ」。ロシア語で「信頼」を意味するといい、夢の舞台への思いを託す。「まずは記録を残し、次につなげる大会にしたい」。畠山君は冷静な一言に情熱をにじませ、意気込む。

「より良い走りで次につなげる大会にて、愛車のヴェールヌイの再設計を進める畠山航君

岩手日報　平成27年12月30日

ものづくりコンテストに参加して

1年A組　小野寺一輝

今回自分は、ものづくりコンテスト岩手県大会の電子回路組立部門に初めて出場した。

初めての出場ということで、初めに基盤の組立の練習を行った。もともとはんだ作業が苦手だったこともあり、初めにできた基盤はあまりにも酷い仕上がりで、一緒に出場した先輩にも笑われる程であった。

それから、先輩や担当の先生の指導の下で何度も基盤の製作を行った。できたと思ったら正常に動作しなかったり、正常に動作したかと思えば、やはり見るに堪えないような基盤だったり、それでも何度も何度も基盤の製作を行うごとに少しずつではあるが、自分でも製作していく技術が上達していくのが分かった。今考えると並行して行った設計やプログラミングの練習の3倍以上は、この練習に費やしたと思っている。

そして迎えた大会では普段と異なる環境での作業だったがプログラムも設計も何事もなく終え、心配していた基盤の方も何とか完成させることができ、結果6位入賞することができた。個人的には、入賞できたことは嬉しかったが、1位になった選手の基盤を見せてもらった時に自分とは比べ物にならない程綺麗な仕上がりで、自分の技術が全く足りていなかったと痛感した。

今回は入賞出来たものの技術の差を気づかされた。しかし、自分はこれを、技術の差を知ることができた良い機会だと思っている。今回足りなかった技術を次回の大会までに身に着けて今度は優勝できるよう頑張りたい。

【ビジネス情報科】チャレンジショップをやってみて

2年B組　大江　龍

今回ぼくが店長としてチャレンジショップをやって最初に思ったのは、皆に指示するのがとても難しいということです。僕は去年もチャレンジショップを経験しているのですが、店長になってみて初めて皆に指示することの難しさを知りました。

まず、商品を選ぶときにはブレインストーミングみたいに皆の意見を否定しないで取り扱う商品の候補をまとめていきました。しかし、商品を選んでいる途中で、取り扱うことのできない商品が出てきて、それに類する商品は候補として出さないように皆に言ったのですが、きちんと伝わってなかったのか、その後も似たような商品が出てきてしまい、商品選びに時間がかかってしまいました。この反省から、来年チャレンジショップに参加する人は、店長の指示・連絡をしっかり聞いて行動できるともっと効率よく仕事ができると思いました。店長は皆にしっかり指示が通るよう準備をして、商品選びをできるだけ早く終わらせて次の準備に取り掛かることが大切だと思いました。

他には、新聞に載せるためのインタビューがとても緊張しました。質問をされるたびに答えに詰まったり分からないことがあったりして、自分が商品についてあまり良く分かっていないことを自覚しました。来年の店長には、取り扱う商品についてよく調べ、どこがおすすめなのかなどをしっかり把握して、誰にでも説明できるように勉強しておいてほしいと思っています。

今回のチャレンジショップでは、部活動の大会が重なっている人が多く、当日の人手が足りなかったのがとても大変でした。特にクレープの係の人たちは、ほぼ休むことなく仕事をしていたので、来年はこのようにならないよう人選から考えていかなくてはと思います。

青雲祭では、みんな商品陳列やレジにも慣れてきていたので、困ることはあまりありませんでしたが、飲み終わったあとのサイダーの瓶の回収に問題が残りました。普通のごみ箱にサイダーの瓶が入っていたりして、それを回収するのがとても大変でした。ビンの回収を徹底するために、来年は何か良い方法を考える必要があります。

最後に、店長はとても大変なことが多くありましたが、みんなと協力して何かすることはとても面白かったです。そして、皆をまとめて何かするという経験は、将来どこかで必ず役立つと思うので、苦労も多くありましたが、今は店長の仕事をして良かったと感じています。

ラッピング教室を受講して

2年C組　高橋　風香

私はプレゼントの包装がどういう風に作られているのか以前から気になっていました。家で自分でやろうとしてもなかなかお店のような包装ができませんでした。ラッピング教室を受講してみて結構複雑な折り方でできていて驚きました。6人グループになって一緒にラッピングをしたのですが、周りがどんどんできているのになかなか自分はできなくて苦戦しました。講師の方はとても簡単そうに作っていて自分もいけそうと思っていましたが、長さが合わなかったりぐちゃぐちゃになったり難しかったです。最初に円柱型の箱をラッピングしました。紙が破けちゃったので見えないように誤魔化しました。しわをきれいに整えるところが難しかったです。次に長方形型の箱のラッピングをしました。このラッピングの方が難しかったです。自分って実は不器用だったのだと感じ少し落ち込みました。十字にリボンを結ぶのは最上級に難しかったです。左にクロスするのか右にクロスするのか頭がこんがらがってしまいました。器用な子とかは十字に結ぶのにプラスしてアレンジを加えていてすごかったです。リボンの結び方にもコツがあり上手くいかないと縦結びになったり、最初は長さを揃えて結んだのに最終的に左右の長さが違ったりシビアだなと思いました。その後ラッピングした箱に装飾をしました。いろいろな装飾がありとても迷いました。どんなのがいいかなと考えてるうちに使いたいの全部使っちゃえとなりこちやこちゃな装飾になりました。センスが大事だなと改めて感じました。

今思うと、お店の人はすごいなと思いました。お店に行ってプレゼント用にラッピングを頼むと早い時間でかわいい包装がされます。実際に私がやると長時間かけてやっとできて、あまりかわいいとは思えない装飾になりました。器用さと早さとセンスが大事な仕事をお店の人はやっているのだなと感じすごいなと思いました。私も練習していつか自分でラッピングしたプレゼントを贈ってみたいです。

【総合生活科】ホームプロジェクト活動を通して

2年D組　根口　朋美

2年生では、「課題研究」という科目があり、その中で、私は家庭クラブ研究を選択しました。家庭生活についての問題を発見し解決する研究を行うという内容です。私は、「単身赴任中の父の食生活」を題材としたホームプロジェクト活動に取り組みました。単身赴任の父が少しでも健康に過ごせるように、食生活の改善について研究を進めました。これまで先輩方は東北大会出場という素晴らしい結果を残してきたので、私も同じレベルまで研究を深められるのか不安でした。

4月から研究を始め、実践活動や原稿作りをしていくうちにあっという間に10月の地区大会になってしまいました。研究内容や読みの練習に不安が残っていましたが、何とか地区大会を突破することができました。それから2週間後の県大会へ向けて、新たに研究内容の見直しを行いました。限られた時間の中で、離れて暮らす父から情報を集めて分析することは大変な作業でした。また、15分という発表時間の中で伝えたいことをどうすれば簡潔にまとめることができるのか、どう読めば相手が理解してくれるのか、最後まで悩みました。こうして臨んだ県大会では、地区大会よりもさらに内容が濃いものになり、最優秀賞を頂くことができました。東北大会出場が決まり、県の代表になった時はとてもうれしかったです。

東北大会は秋田県横手市で行われました。ホームプロジェクトの部の岩手県代表ということもあり、会場も大きく発表はとても緊張しました。残念ながら最優秀賞にはなりませんでしたが、すべてを出し切り笑顔で終えることができました。また、各県の代表校の発表を聞き多くのことを学び、とても良い勉強になりました。

私は今回のホームプロジェクト研究活動を通して、父や家族と今まで以上にコミュニケーションをとることができたと感じています。また研究を重ねるうちにより良いものなっていき挑戦してよかったと思います。来年度家庭クラブでホームプロジェクトを選択した方には、思うように研究が進まずに苦労することもあるかもしれませんが、最後には必ず達成感が味わえるのでぜひ頑張ってほしいと思います。

そしてここまで来ることができたのは、家庭クラブのメンバーの支えやクラスメイトの協力、先生方のご指導があってこそのものだと思います。今回の研究に携わっていただいた皆様、本当にありがとうございました。

平舘高　花北青雲高・根口さん

家庭ク発表 東北切符

最優秀賞を受賞した花北青雲の根口朋美さん（前列左から2人目）、平舘の津志田優季さん（同3人目）と両校のメンバー

第65回県高校家庭クラブ連盟研究発表大会（同連盟主催）は22日、二戸市石切所の市シビックセンターで行われた。学校家庭クラブ活動の部は平舘、ホームプロジェクトの部は花北青雲の根口朋美さん（2年）が最優秀賞に輝き、12月10、11日に秋田県横手市で行われる東北大会への出場を決めた。

2部門に10校約40人が参加し、平舘は「『懐かしい！』から始める地元の笑顔～紫蘇薫祭クッキーと伝承遊びをアレンジして～」と題し発表。地域住民に試食してもらい、みそ味のクッキーを開発したことなどを紹介した津志田優季さん（2年）は「地域の食材を使うことで地元に貢献できたと思う」と充実感をにじませた。

根口さんは単身赴任する父の食生活を見直すよう減塩・時短レシピを提案した。乾燥野菜を使ったみそ汁やふりかけなどを紹介し、「年5回ほどしか会えない大好きなお父さんだからこそ心配。元気に仕事を頑張ってほしいという願いを込めた」と振り返った。

保護者感謝会を終えて

3年D組　佐々木郁美

保護者感謝会は、私たち総合生活科にとって、3年間を通して学んできたことの集大成です。そのため、この会を成功させたいと強く思って準備を進めてきました。

私は地域生活文化コースとして、料理でおもてなしをしました。保護者のみなさんに喜んでもらうために料理の味はもちろん、見た目や盛り付けにもこだわって練習を行ってきました。たった3回の試作でしたが、各班ごとに担当の献立を最良のものにする努力をしました。

当日は、55食分の調理を行いました。人手が足りずに困ったこともありましたが、協力して助け合い時間通りに調理が終わりました。献立は全て私たちのオリジナルであり、地域の特産品を用いて、彩りよく仕上げることができました。料理の一品、一品にかけたみんなの想いが一つになってオリジナルワンプレートランチが完成し、大きな達成感を得ることができました。

この保護者感謝会を通して、私たち自身がまた一つ成長することができたと思います。3年間はあっという間に過ぎてしまいましたが、入学してから様々なことを学び、自分の技術向上ができたことを改めて実感することができました。そして、努力の成果を保護者のみなさんに見せることができ、何よりも嬉しいです。

振り返ると、ご飯の準備や掃除、洗濯など生活の多くは母に頼ってきました。私が毎日、学校に行けるのは母の協力があってできていました。進路で悩んだとき、嬉しいことがあったとき、悲しいことがあったとき、いつも話を聞いてくれました。そんな母に感謝の気持ちを伝えることができて本当に良かったと思います。今後は、3年間で得たことを生かして夢に向かってさらに頑張っていきたいと思います。

磨いた腕で創作料理

3年生が保護者感謝会

花北青雲高総合生活科

3年間ありがとう―。花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校（小原和雄校長、生徒491人）で28日、総合生活科3年生の保護者感謝会が開かれた。卒業を間近に控えた生徒が保護者に対し、学習成果を披露するとともに、これまでの支援に感謝の気持ちを伝えた。

10年ほど前から開かれている同科の恒例行事で、3年生39人が企画、運営を担当。児童・高齢者福祉、地域生活・文化の両コースの生徒がそれぞれ3年間の学習成果を紹介したほか、被災地大槌町での復興支援活動報告、最後に保護者に宛てた感謝カードを手渡した。

このうち地域・文化コースは「料理によるもてなし」と題し、県産食材を使った料理を振る舞った。「かつらむき大根の奉書巻き清まし汁」「南部鮭と旬野菜の和風グラタン」「県産鶏肉と野菜の甘酢あんかけ」など。磨いた腕前で心を込めて調理した。

デザートには石鳥谷産のリンゴと北上市産の桑茶をアレンジしたオリジナルの「桑っぷるシフォン」。参加した保護者らは「とてもおいしい」「家でも作ってもらいたい」「このままでも商品になる」と感嘆の声を上げ、3年間の成長ぶりを料理からも確かめた。

また、児童・高齢者福祉コースでは絵本の読み聞かせやパネルシアター、ペープサートを披露。将来、保育士、看護師などを目指す生徒が保護者らの前で堂々と発表し、目頭を熱くする姿もあった。

卒業後は管理栄養士を目指して大学に進学する菊池さくらさんは「これまで恥ずかしくて言えなかったが、こういう形で感謝していることを伝えられてよかった。今後は目標をかなえ、親孝行したい」を目を輝かせた。母親の幸子さんは「感動で胸がいっぱいになった」とし、新たな道での頑張りに期待した。

岩手日日　平成28年1月29日

保護者感謝会に寄せて

3年D組保護者　藤嶋　美代子

入学して3年もうすぐ卒業です。

この度、保護者感謝会を開いていただき、ありがとうございます。手話合唱に始まり、絵本の読み聞かせ等、楽しい時間を過ごすことができました。料理によるおもてなしは、3Dオリジナルワンプレートランチでした。見た目もきれい、味も最高で、おいしくいただきました。お店のメニューにあったら、また食べたいと思いました。デザートもおいしかったです。

この3年間、総合生活科で、保育・福祉・料理・被服また復興支援活動等、いろいろな事を学び体験したと思います。3Dのクラスの皆さんと共にその成長した姿を見ることができ大変うれしく思いました。皆さん、ありがとう。

最後に、スライドを見せていただき、子供達の笑顔を見て、楽しい高校生活を送ることが出来たと思いました。これも先生方の御指導のおかげと感謝しています。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

保護者感謝会に寄せて

3年D組保護者　簡　明美

1月28日に3Dのみなさんが私達のために涙と感動のおもてなしをしてくれました。

初めに児童・高齢者福祉コースの子供達が、手話合唱、絵本の読み聞かせ、ペープサート・パネルシアターを表現豊かに披露してくれました。お昼には、地域生活・文化コースの子供達が、和洋中のワンプレートランチと3種類のデザートをごちそうしてくれました。どれもとてもおいしくて、お母さん方との会話も弾みました。ランチョンマットなども手作りで心のこもった昼食でした。そして被災地への復興支援活動の報告からは、子供達の努力の成果を見ることが出来ました。最後に先生から子供達へのサプライズがあり涙、涙でした。

子供達が笑顔あふれる学校生活を送り、夢や将来に向かって頑張ってこられたのは、3年間見守り、支えてくださった先生方のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。そして子供達との素敵な時間をありがとうございました。

◉ 平成27年度民間就職・公務員・進学内定状況（2月17日現在）◉

種別＼区分	職種	情報工学科 男	情報工学科 女	ビジネス情報科 男	ビジネス情報科 女	総合生活科 男	総合生活科 女
【金融・保険業】							
管内 花巻信用金庫	事務				1		
県内 ㈱岩手銀行	銀行全般				1		
北上信用金庫	銀行全般				1		
県外 朝日信用金庫	銀行全般				1		
小計	4	0	0	0	4	0	0
【卸売・小売業】							
管内	販売						
㈱Paltac 東北支社	物流			1			
県内 ㈱砂田屋	販売				1		
㈱吉田産業	事務				1		
㈱あらた 東北支社	一般職				1		
コムネット	販売				1		
県外 オオゼキ	販売			1			
成城石井	販売						1
小計	7	0	0	2	4	0	1
【サービス業】							
管内 花巻温泉㈱	サービス				2		
大沢温泉㈱	サービス			1			
フレンドステージ山の神温泉優香苑	サービス	1					
志戸平温泉㈱	サービス						1
志戸平温泉㈱	調理						1
㈱新鉛温泉（結びの宿愛隣館）	サービス				1		
㈱星光舎	スタッフ				1		
花巻農業協同組合	総合職				4		1
県内 ㈱岩手ホテルアンドリゾート	サービス				1		
㈱トヨタレンタリース岩手	フロント						1
盛岡赤十字病院	施設管理	1					
コムネット	販売						
㈱カネボウ化粧品東北支社岩手支店	カウンセラー						1
社会福祉法人 清智会	介護員				1		
県外 ㈱勝浦ホテル三日月	サービス						1
一般社団法人TMG本部	経理				1		
戸塚共立リハビリテーション病院	看護助手						1
小計	21	2	0	1	11	0	7
【製造業・建設業】							
管内 ㈱アイオー精密	技術者	2					
㈱伊藤組	管理			1			
旭エンジニアリング㈱	製造						1
㈱中央コーポレーション	製造	1					
リコーインダストリアルソリューションズ㈱花巻事業所	技能	1					
富士フイルムテクノプロダクツ㈱	製造	1					
岩手阿部製粉㈱	製造販売						1
東北日東工業	製造	1			1		
県内 岩手畜産流通センター	製造加工			1			
岩手東芝エレクトロニクス㈱	技術職	1					
岩手東芝エレクトロニクス㈱	事務職				1		
ケミコン岩手㈱	製造	1					
トヨタ紡織東北㈱	事務職				1		
TBソーテック東北㈱本社江刺工場	技能						1
パンチ工業㈱北上工場	事務				1		
㈱東北日立	総合職	1					
TDK－MCC㈱北上工場	製造オペレーター	1					
県外 日産自動車㈱	技能	1					
山崎製パン㈱	生産						1
トヨタ自動車東日本㈱	生産	2					
㈱ホンダテクノフォート	研究開発	1					
日本電気㈱府中事業場	製造	1					
日鉄テックスエンジ(株)君津支店	技術	1					
新日鐵住金㈱ 鹿島製鐵所	生産						1
新日鐵住金㈱ 君津製鐵所	生産			1			
新日鐵住金㈱ 名古屋製鐵所	生産	1					
計	29	17	0	3	4	0	5
【電気・ガス・熱供給・水道業】							
県外 ㈱きんでん	電気工事	1					
東京ガス㈱	技能	1					
東北電力㈱	電気	1					
計	3	3	0	0	0	0	0
【情報通信・運輸業】							
管内 日本郵便㈱郵便事業総本部東北支社	郵便配達				1		
県内 日本梱包運輸倉庫㈱	事務職				3		
日本梱包運輸倉庫㈱	現業職				1		
東日本旅客鉄道㈱	プロフェッショナル			1			
県外 トッパン・フォームズ・オペレーション㈱	管理	1		1	1		
東信産業	技術職	1					
西濃運輸㈱東京支店	運転手			1			
㈱エヌティティ エムイー（NTT－ME）	エンジニア			1			
小計	12	2	0	4	6	0	0
企業就職内定者計	76	24	0	10	29	0	13

種別＼区分	職種	情報工学科 男	情報工学科 女	ビジネス情報科 男	ビジネス情報科 女	総合生活科 男	総合生活科 女
岩手県職員Ⅲ種	一般事務	(1)		(1)	1(3)		
岩手県警察	警察官				1(1)		
花巻市職員	一般事務	1(1)		(2)	2(3)		
花巻市職員	消防官			2(3)			
北上市職員	一般事務				1(1)		
国家公務員 東北	一般職				(1)		
国家公務員 東北	税務				(3)		1(1)
岩手県警察	警察事務	(1)					
自衛隊一般曹候補生	自衛官			1(5)			
航空学生	自衛官			(1)			
青森県警察	警察官			(1)			
公務員1次合格者数( )	29	3	0	13	12	0	1
公務員内定者計	10	1	0	3	5	0	1
就職内定者総計	86	25		47		14	
【国公立大学】	7						
宮城大学 事業構想部 デザイン情報工学科					1		
岩手大学 理工学部 システム創成工学科		2					
岩手県立大学 ソフトウエア情報学部		2		1			
岩手県立大学 看護学部							1
【私立大学】	16						
天使大学 看護栄養学部							1
盛岡大学 文学部 児童教育学科					2	1	
盛岡大学 栄養科学部							
東北福祉大学 総合福祉学部				1			1
東北学院大学 経営学部				3			
石巻専修大学 経営学部					1		
日本大学 商学部				1			
東海大学 体育学部					1		
日本医療科学大学 保健医療学部		1					
千葉商科大学 サービス創造学部				1			
帝京大学 工学部		1					
富士大学 経営学部					1		
小計	23	6	0	7	6	1	3
【国公立短期大学】	2						
岩手県立大学盛岡短期大学部 生活科学科							2
【私立短期大学】	9						
盛岡大学短期大学部 幼児教育学科					1		5
仙台青葉学院短期大学部 ビジネスキャリア学科					1		1
神奈川歯科大学短期大学部 歯科衛生学科							1
【公立短期大学校】	4						
岩手県立産業技術短期大学校 情報技術科		2					
岩手県立産業技術短期大学校 建築科			1	1			
小計	15	2	1	1	2	0	9
【専門学校】							
岩手県立黒沢尻工業高等学校 専攻科機械コース		1					
岩手リハビリテーション学院 理学療法学科					1		1
北上コンピュータアカデミー		2		2			
日本工学院八王子校		2					
仙台医健専門学校		1					
上野法律ビジネス専門学校					1		
国際マルチビジネス専門学校					1		
盛岡情報ビジネス専門学校					1		
盛岡医療福祉専門学校				1			2
盛岡ペットワールド専門学校					1		
ヒューマンアカデミー					1		
東北電子専門学校						1	1
盛岡社会福祉専門学校							1
仙台デザイン専門学校							1
専大北上福祉専門学校							1
菜園調理師専門学校							1
岩手医科大学医療専門学校							1
東京ベルエポック専門学校							2
花巻高等看護専門学校					3		
北日本ヘアスタイリストカレッジ					1		
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ					1		
大原学園盛岡校					1		
デジタルアーツ仙台		1					
盛岡公務員法律専門学校				3			
小計	37	7	0	6	12	1	11
未定	2	0	0	2	0	0	0
進学合格者総計	75	16		34		25	
進路決定者総計	161	41		81		39	

平成27年度 部活動等成績

卓球

【男子】

●第67回岩手県高等学校総合体育大会
団体
1回戦 3－0 水沢農
2回戦 3－1 葛巻
3回戦 3－2 一関第二
準々決勝 0－3 一関工業 ベスト8

個人シングルス
1回戦 蜂谷 亮太 0－3 菊池（水沢）
佐藤 嵩晃 3－0 佐藤（専北）
2回戦 佐藤 嵩晃 3－1 平船（大野）
3回戦 佐藤 嵩晃 0－3 沼倉（関工）

個人ダブルス
1回戦 森重・熊谷 3－1 太田・熊谷（高田）
佐藤・菊池 3－1 岩崎・高橋（市立）
蜂谷・鎌田 3－0 菊池・齊藤（水沢）
2回戦 森重・熊谷 0－3 本間・川合（専北）
佐藤・菊池 3－1 小岩・小野寺（関二）
蜂谷・鎌田 3－0 日脇・一条（軽米）
3回戦 佐藤・菊池 0－3 坂本・阿部（専北）
蜂谷・鎌田 0－3 村上・松坂（高田）

●平成27年度新人卓球大会
団体 1回戦 花北青雲 3－0 福岡
2回戦 花北青雲 3－1 江南義塾
3回戦 花北青雲 0－3 一関工業
ベスト16

個人シングルス
1回戦 熊谷洋孝 3－0 新田（北上翔南）
小池直樹 3－0 伊藤（一関高専）
鎌田敦史 3－2 石井（盛岡一）
2回戦 熊谷洋孝 1－3 金（一関一）
小池直樹 0－3 藤根（花巻北）
鎌田敦史 1－3 菅原（一関一）
蜂谷亮太 3－1 高橋（水沢工）
3回戦 蜂谷亮太 1－3 西館（一関工）

個人ダブルス
2回戦 熊谷・小池 3－1
熊谷・小池 3－1
3回戦 熊谷・小池 1－3
蜂谷・鎌田 1－3

両組 ベスト16

●第39回東北選抜卓球大会岩手県予選会
予選リーグ A リーグ
3－1 黒沢尻北
3－2 一関工業
1－3 花巻農業
2－3 一関第二
順位決定リーグ
3－0 高田
3－1 盛岡工業 11位
3－0 菊池（盛岡工）
2回戦 3－0 大下（岩泉）
3回戦 3－1 室岡（市立）
4回戦 3－1 平（花巻農） ベスト32
5回戦 1－3

●平成27年度全国高等学校選抜卓球大会岩手県予選会
男子15名、女子5名参加
主な成績
熊谷洋孝
蜂谷亮太

【女子】

●第67回岩手県高等学校総合体育大会
団体
1回戦 3－0 畠山（宮古）
2回戦 3－1 佐藤（岩谷堂）
3回戦 3－1 和野内（黒沢尻工）
4回戦 3－1 菊池（金ケ崎）
5回戦 3－0 桂駿介（宮古工） ベスト16
6回戦 2－3

板垣貴博
2回戦 3－0 吉田（盛岡商）
3回戦 3－1 嶋森（盛岡北）
4回戦 3－0 柳清水（種市）
5回戦 3－1 柴田（二戸）
6回戦 2－3 平船慎太郎（大野）
準々決勝 1－3 道上康（一関第二） ベスト8

●平成27年度新人卓球大会
団体 2回戦 花北青雲 1－3 盛商

個人シングルス
1回戦 鈴木映見 0－3 田中（北上翔南）
鈴木千尋 3－1 中津山（大東）
2回戦 鈴木千尋 0－3 土田（大野）

個人ダブルス
1回戦 鈴木・鈴木 1－3 高橋・久保（盛岡一）

個人シングルス
佐々木麗衣 1－3 佐藤（関二）

個人ダブルス
佐々木・鈴木 0－3 吉田・田村（市立）

バドミントン

●第67回岩手県高等学校総合体育大会
男子学校対抗 準優勝
女子学校対抗 ★優勝★

個人ダブルス
男子ダブルス
高橋拓夢・藤原望夢 準優勝
高橋祐樹・野田瑞貴 ベスト4

女子ダブルス
畠山静花・中島 葵 ★優勝★
藤井 愛・金野夕香 準優勝
久慈裕美・野田彩瑛 第3位
外川実空・下瀬川ユリア ベスト8
佐々木良幸・市原杏奈 ベスト8

男子シングルス
野田瑞貴 ベスト8

女子シングルス
畠山静花 ★優勝★
藤井 愛 準優勝
金野夕香 第3位
中島 葵 ベスト8
久慈裕美 ベスト8
外川実空 ベスト8

●第44回東北高等学校バドミントン大会選手権大会
男子学校対抗
1回戦 0－3 山本学園
女子学校対抗
1回戦 3－0 弘前学院聖愛
2回戦 3－1 常磐木学園
準決勝 0－3 富岡ふたば未来学園 ベスト4

個人対抗
男子ダブルス
高橋拓夢・藤原望夢 1回戦敗退
高橋祐樹・野田瑞貴 1回戦敗退

女子ダブルス
藤井 愛・金野夕香 ベスト8
畠山静花・中島 葵 2回戦敗退
久慈裕美・野田彩瑛 1回戦敗退

女子シングルス
藤井 愛 2回戦敗退
畠山静花 1回戦敗退
金野夕香 1回戦敗退
外川実空 ベスト4
佐々木良幸・市原杏奈 ベスト8

●第60回岩手県種目別バドミントン選手権大会
男子ダブルス
高橋拓夢・藤原望夢 準優勝
高橋祐樹・野田瑞貴 ベスト4

女子ダブルス
畠山静花・中島 葵 ★優勝★
藤井 愛・金野夕香 準優勝
久慈裕美・野田彩瑛 第3位
佐々木良幸・市原杏奈 ベスト8

★第66回全国高等学校バドミントン選手権大会（近畿インターハイ）
女子学校対抗
1回戦 3－0 鴛沼（神奈川）
2回戦 0－3 諫早商業（長崎） 2回戦敗退

個人対抗
男子ダブルス
高橋拓夢・藤原望夢 1回戦敗退

女子ダブルス
畠山静花・中島 葵 2回戦敗退
藤井 愛・金野夕香 1回戦敗退

女子シングルス
畠山静花 1回戦敗退
藤井 愛 1回戦敗退

●第34回全日本ジュニアバドミントン大会（埼玉県久喜市）
女子ダブルス
藤井 愛・金野夕香 一回戦敗退

女子シングルス
藤井 愛 二回戦敗退

●第55回岩手県高等学校新人バドミントン大会
男子学校対抗 準優勝
一回戦 3－0 黒沢尻工業
二回戦 3－0 盛岡中央
三回戦 3－2 専大北上
準決勝 3－0 水沢
決勝 1－3 前沢
女子学校対抗 ★優勝★
一回戦 3－0 盛岡第一
二回戦 3－0 盛岡白百合
三回戦 3－0 大東
準決勝 3－0 盛岡第三
決勝 3－1 前沢

個人対抗
男子ダブルス
準優勝 野田瑞貴・三浦 大
第三位 小原楓雅・吉田侑生

女子ダブルス
★優勝★ 藤井 愛・金野夕香
準優勝 佐々木良幸・市原杏奈
外川実空・下瀬川ユリア
ベスト4 野田瑞貴
三浦 大

女子シングルス
★優勝★ 金野夕香
第三位 外川実空
ベスト4 下瀬川ユリア
ベスト8 藤井 愛
市原杏奈

●第60回岩手県総合バドミントン選手権大会
女子ダブルス
★優勝★ 藤井 愛・金野夕香
準優勝 畠山静花・中島 葵
ベスト8 外川実空・下瀬川ユリア
ベスト8 佐々木良幸・市原杏奈

男子シングルス
ベスト8 三浦 大

女子シングルス
★優勝★ 畠山静花
準優勝 中島 葵
ベスト8 藤井 愛・金野夕香
ベスト8 佐々木良幸・市原杏奈

●第16回岩手インターハイ記念岩手県高等学校選抜バドミントン大会
男子学校対抗 ★優勝★
一回戦 3－0 一関高専
準決勝 3－0 水沢第一
決勝 3－1 盛岡市立
女子学校対抗 準優勝
一回戦 3－0 一関第二
準決勝 2－3 大東
決勝 2－3 前沢

●第44回全国高等学校選抜バドミントン大会
東北地区予選会（秋田県秋田市）
男子学校対抗 ベスト8
一回戦 3－0 須賀川桐陽（福島）
二回戦 3－0 秋田工業（秋田）
三回戦 1－3 聖ウルスラ学院英智（宮城）
女子学校対抗 第3位
一回戦 3－0 須賀川桐陽（福島）
二回戦 3－1 常磐木学園（宮城）
準決勝 0－3 青森山田（青森）
代表決定戦 0－3 聖ウルスラ学院英智（宮城）

個人対抗
男子ダブルス
野田瑞貴・三浦 大 一回戦敗退
女子ダブルス
藤井 愛・金野夕香 二回戦敗退
佐々木良幸・市原杏奈 一回戦敗退
女子シングルス
金野夕香 一回戦敗退

バレーボール

【男子】

●第67回岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 花北青雲 1－2 大船渡
（21－25 25－16 23－25）

●第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会 花巻地区予選会
9月24日（木）
リーグ戦 1日目
花北青雲 0－2 花巻東（9－25 7－25）
花北青雲 2－0 遠野（25－22 25－21）
9月25日（金） 2日目
花北青雲 0－2 紫波総合（19－25 20－25）
花北青雲 0－2 花巻北（19－25 23－25）
最終結果 花巻地区4位通過

●第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会 岩手県予選会
10月24日（土）
1回戦 花北青雲 0－2 不来方（12－25 13－25）

●第63回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技
花巻地区予選会
12月17日（木）
リーグ戦 1日目
花北青雲 0－2 花巻東（16－25 20－25）
花北青雲 0－2 花巻北（13－25 21－25）
12月18日（金） 2日目
花北青雲 0－2 紫波総合（22－25 23－25）
花北青雲 2－1 遠野（25－20 16－25 25－15）
最終結果 花巻地区4位通過

【女子】

●第67回岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 花北青雲 2－0 種市（25－10 25－13）
2回戦 花北青雲 2－0 盛岡南（25－15 25－16）
3回戦 花北青雲 0－2 花巻南（19－25 19－25）
最終結果 ベスト16

●第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会 花巻地区予選
予選リーグ
0－2 花巻南
0－2 花巻北
代表決定トーナメント
1回戦 2－0 紫波総合
2回戦 2－0 花巻
決勝 0－2 遠野

●岩手県高等学校新人体育大会バレーボール競技 花巻地区予選
女子予選リーグ
花巻北 （25－12 19－25 23－15）
1－2 花巻南 （17－25 14－25）
0－2 花巻南 （17－25 25－8 25－5）
2－0 遠野緑峰
代表決定リーグ
2－0 紫波総合 （25－9 25－13）
2－0 遠野緑峰 （25－0 25－0）
2－0 花農・大迫 （25－17 25－15）

柔道

●第40回花巻市民スポーツ大会柔道競技
団体戦
【男子】
花巻農業・花北青雲合同チーム
1回戦 4－1 対花巻東B ○
決勝 1－3（1分け） 対花巻東A ● 第2位

【女子】
花巻北・花北青雲合同チーム
1回戦 1－2 で敗退 第3位

個人戦
【高校男子の部】
中井－菊池（花東） 1本勝ち
中井－中畑（花東） 1本勝ち
中井－伊藤（花東） 1本勝ち 中井 丞 優勝

【高校女子の部】
鈴木－小田嶋（花東） 1本負け

●第67回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技 岩手県大会

団体戦
【男子】
花巻北高等学校と合同チーム
2敗で予選リーグ敗退
【女子】
花巻北高等学校と合同チーム
女子2敗で予選リーグ敗退
個人戦
【男子】
73kg級
1回戦　中井　丞
中井　○―×　沢田（盛農）一本勝
2回戦　中井　×―○　佐藤（一関学院）一本負
【女子】
鈴木彩香
1回戦　鈴木○―佐々木×（一関学院）不戦勝
2回戦　鈴木×―佐々木○（盛岡南）一本負　ベスト16

ソフトボール

●第47回岩手県高等学校選抜ソフトボール大会
予選リーグ　1勝1敗
2位順位決定トーナメント　対　大東　2―4
●高校女子ふれあいソフトボール大会
1次予選リーグ　1位
2次予選リーグ　2位
最終順位決定戦　対　聖和　1―8　第4位（全18チーム中）
●第67回高等学校総合体育大会
1回戦　対　盛岡市立　6―2
2回戦　対　花巻農業　21―0（5回コールド）
準々決勝　対　盛岡第四　13―0（5回コールド）
準決勝　対　花巻東　0―11（5回コールド）
●第8回高校女子大会　花巻地区予選
代表決定戦　対　花巻農業　相手棄権により不戦勝
●第8回高校女子大会
1回戦　対　盛岡誠桜　9―2（6回コールド）
2回戦　対　一関第一　0―19（5回コールド）
県ベスト8
●新人大会花巻地区予選
1回戦　対　花巻北　1―10（5回コールド）
2回戦　対　花巻南　4―0
最終決定戦　対　花巻東　3―4×（7回サヨナラ）
●第62回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技
第5シード権獲得
1回戦　対　盛岡中央　11―1（4回コールド）
2回戦　対　高田　0―10（4回コールド）
準々決勝　対　千厩　1―5　県ベスト8
●第21回岩手県新人選抜ソフトボール大会
予選リーグ
1回戦　対　盛岡二高　0―11（5回コールド）
2回戦　対　花巻南　2―1　予選第1位
順位決定トーナメント
1回戦　対　花巻南　7―10　最終順位　第3位

野球

●第62回春季東北地区高等学校野球岩手県大会
花巻地区予選
1回戦　対　大迫・前沢・沼宮内連合　11―2
2回戦　対　花巻農業　9―1
第1代表決定戦　対　花巻東　0―8
●第62回春季東北地区高等学校野球岩手県大会
1回戦　対　盛岡四　3―4
●第97回全国高等学校野球選手権岩手大会
2回戦　対　一戸　6―5（延長10回）
3回戦　対　盛岡大附　1―11

●第68回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会
花巻地区予選
1回戦　8―1　一関工業（7回コールド）
2回戦　11―5　高田
準々決勝　3―4　花巻南　ベスト8
●第30回花巻市長杯争奪野球大会
1回戦　11―0　花巻北（5回コールド）
2回戦　4―1　花巻農業
決　勝　3―2　花巻東

●第68回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会
花巻地区予選
1回戦　1―0　花巻南
2回戦　4―5　花巻北
第3代表決定戦　9―6　遠野
●第68回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会
1回戦　8―1　一関工業（7回コールド）
2回戦　11―5　高田
準々決勝　3―4　花巻南　ベスト8
●第30回花巻市長杯争奪野球大会
1回戦　11―0　花巻北（5回コールド）
2回戦　4―1　花巻農業
決　勝　3―2　花巻東

ソフトテニス

【男子】
●第67回岩手県高等学校総合体育大会
個人戦　浅沼健太・阿部泰雅　2回戦敗退
吉田清流・千葉朋樹　初戦敗退
高橋駿・中野未祐士　3回戦敗退
熊谷将成・菊池慧　初戦敗退
佐藤鴬樹・関祐希　初戦敗退
団体戦　1回戦　2―1　釜石
2回戦　0―3　盛岡第一
●第60回岩手県高等学校新人体育大会　花巻地区予選
個人戦　高橋駿・中野未祐士　地区2位通過
熊谷将成・菊池慧　地区7位通過
杉山理久・小原秀太　地区10位通過
団体戦　地区2位通過
●第60回岩手県高等学校新人体育大会　県大会
団体戦　1回戦　花北青雲　1―2　宮古商業
個人戦　高橋駿・中野未祐士　2回戦敗退
熊谷将成・菊池慧　2回戦敗退
杉山理久・小原秀太　1回戦敗退
【女子】
●平成27年度岩手県高等学校総合体育大会
花巻地区予選
団体戦Aブロック
花北青雲　2―0　花巻東
花北青雲　1―2　紫波総合
Aブロック2位通過
個人戦
泉澤・佐々木　1回戦敗退
菅原・高橋　2回戦敗退
鎌田・平賀　3回戦敗退
兎澤・花輪　地区4位通過
鈴木・武田　地区7位通過
高橋・高橋　地区8位通過
●岩手県高等学校総合体育大会　県大会
団体戦　1回戦　花北青雲　2―1　大船渡
2回戦　花北青雲　0―3　黒北
個人戦
高橋・高橋　1回戦敗退
鈴木・武田　2回戦敗退
●平成27年度第60回岩手県高等学校新人体育大会
ソフトテニス競技　花巻地区予選
団体戦Aブロック
花北青雲　2―0　花巻東
花北青雲　2―1　紫波総合
Aブロック1位通過　順位決定戦
Bブロック1位　花北
Bブロック2位　花巻地区1位通過
個人戦
花北青雲　2―1　花北
兎澤・佐々木　1回戦敗退　花巻地区1位通過

佐々木・照井　1回戦敗退
晴山・泉澤　1回戦敗退
菅原・伊藤　2回戦敗退
高橋・高橋　2回戦敗退
鈴木・武田　地区5位通過
●第60回岩手県高等学校新人体育大会　県大会
団体戦　1回戦　花北青雲　0―2　岩手女子
個人戦　鈴木・武田　1回戦敗退

サッカー

【男子】
●第67回岩手県高等学校総合体育大会
1回戦　0―5　江南義塾
●高円宮杯U―18サッカーリーグ2015 i.LEAGUE
D3中部
第1節　花北青雲　1―5　黒沢尻北
第2節　花北青雲　7―1　岩谷堂
第4節　花北青雲　4―3　金ケ崎
第5節　花北青雲　12―1　遠野緑峰
第6節　花北青雲　4―1　水沢UFC
第7節　花北青雲　3―0　花巻南
第8節　花北青雲　6―1　黒沢尻北
第9節　花北青雲　13―0　岩谷堂
第11節　花北青雲　5―4　金ケ崎
第12節　花北青雲　22―0　遠野緑峰
第13節　花北青雲　5―0　水沢UFC
第14節　花北青雲　5―0　花巻南
●第94回全国高等学校サッカー選手権岩手県大会
1回戦　花北青雲　8―2　軽米
2回戦　花北青雲　0―11　盛岡市立
●第50回岩手県高等学校新人サッカー大会
1回戦　花北青雲　1―0　大船渡
2回戦　花北青雲　1―2　花巻東
高円宮杯U―18サッカーリーグ2015 i.LEAGUE
プレーオフ　花北青雲　1―3　岩手
【女子】
●第67回岩手県高等学校総合体育大会
1回戦　花北青雲　2―0　宮古
2回戦　花北青雲　0―7　専大北上　（第3位）
●第21回岩手県女子サッカーリーグ【Bリーグ】
第1節　花北青雲　2―1　宮古
第4節　花北青雲　3―0　CRAIL
第5節　花北青雲　4―0　釜石
第7節　花北青雲　5―2　CRAIL
第8節　花北青雲　3―0　宮古
第9節　花北青雲　12―0　宮古
第10節　花北青雲　7―0　宮古
第11節　花北青雲　5―1　CRAIL
第12節　花北青雲　3―0　釜石
Bリーグ全勝優勝　Aリーグ昇格
●第28回岩手県女子サッカー選手権大会（皇后杯県大会）
1回戦　花北青雲　0―6　ゼプラレディース
●第24回全国高等学校女子サッカー選手権岩手県大会
準決勝　花北青雲　1―7　水沢　第3位
●第50回岩手県高等学校女子サッカー新人大会
1回戦　花北青雲　3―1　釜石
2回戦　花北青雲　0―5　専大北上　第3位

男子砲丸投　佐々木佑太　第8位　11m63
●平成27年度岩手県高等学校総合体育大会
1部男子やり投　竹田悠馬　第8位　49m39
●平成27年度岩手県陸上競技選手権大会
1部男子砲丸投（7.260kg）
佐々木佑太　第6位　10m48
2部女子三段跳
三浦悠佳里　第1位　9m69
●平成27年度国民体育大会岩手県最終選考会
3部男子110mJH　阿部　響　第6位　17秒04
9部女子走幅跳　三浦悠佳里　第5位　4m76
●岩手県トラック競技花巻大会
男子800m　加藤　学　第7位　2分04秒43
●平成27年度岩手県新人陸上競技大会
男子400mH　阿部　響　第7位　59秒08
男子砲丸投（6.0kg）　佐々木佑太　第6位　11m98
三浦悠佳里　第6位　9m88
女子三段跳　佐藤　朝香　第8位　9m38
●平成27年度盛岡秋季陸上競技大会
男子砲丸投（6.0kg）　佐々木佑太　第5位　11m93
三浦悠佳里　第6位　9m97
女子三段跳
●平成27年度全国高校駅伝岩手予選会
男子　加藤　学・阿部　響・牧野優樹・晴山慶祐
総合第17位　2時間30分59秒
女子　佐々木果南・松田奈那・高橋綾香・佐藤朝香
佐々木果来
総合第15位　1時間33分18秒
●第101回一関・盛岡間駅伝競走大会
加藤　学・阿部　響・晴山慶祐・渡邊智之
千葉康太郎・牧野優樹
総合第14位　3時間01分51秒

吹奏楽

●平成27年度全日本吹奏楽コンクール
・中央地区大会　7月4日（土）
北上市文化交流センター大ホール
結果　高等学校の部　銀賞
・第53回岩手県大会　7月26日岩手県民会館大ホール
結果　高等学校の部　銀賞
●平成27年度アンサンブルコンテスト花巻支部大会
12月20日（日）花巻市文化会館大ホール
打楽器6重奏　金賞
金管8重奏　銀賞
金管6重奏　銀賞
サックス3重奏　銀賞
クラリネット8重奏　金賞
フルート5重奏　銀賞

珠算

●平成27年度岩手県高等学校珠算・電卓競技大会
団体総合競技　2位
個人総合競技　2位　来田桃子
伝票算競技（珠算）　3位　千葉真実
読上暗算競技（珠算）　2位　来田桃子
読上算競技（珠算）　1位　来田桃子
★第62回全国高等学校珠算・電卓競技大会
珠算の部　来田桃子　出場
●平成27年度岩手県高等学校新人珠算・電卓競技大会
珠算競技
団体の部　2位
個人総合の部　来田桃子　3位

●平成27年度第42回東北六県高等学校珠算・電卓競技大会
珠算競技
団体戦出場者　来田桃子、大崎真優、齋藤晴香
個人競技
読み上げ暗算2位・読み上げ算3位　来田桃子

文芸

●平成27年度岩手県高校生文芸コンクール
詩部門　優秀賞　佐藤　未菜
児童文学部門　入選　大山　恵実
戯曲部門　優秀賞　大山　恵実
随筆部門　優秀賞　佐藤　未菜
★第10回全国高校生短歌大会（短歌甲子園2015）
団体戦1次リーグ（川村姫華・高橋七海・高橋白香）
花北青雲　2―1　群馬県立太田東
花北青雲　0―3　高田（三重）　1次リーグ敗退
●平成27年度岩手県高等学校文芸コンクール
文芸部誌部門　優良賞
●第38回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式における表彰
岩手県高等学校文化連盟賞　佐々木杏奈
●第17回北海道・東北文芸大会　青森大会
詩部門　岩手県代表　佐藤未菜
●第30回全国高等学校文芸コンクール
随筆部門　入選　リ・ライブ　佐藤未菜
●平成27年度全国高等学校総合体育大会第65回全国高等学校スケート競技アイスホッケー競技選手権大会
スローガン・ポスター図案公募
スローガンの部　最優秀賞　滝澤通菜

OA

●平成27年度岩手県高等学校ワープロ競技大会
団体の部　第4位（東北大会出場）
★第53回東北六県高等学校ワープロ競技大会
団体の部　第11位
●平成27年度岩手県高等学校新人ワープロ競技大会
団体の部　第4位

工学研究同好会

●マイコンカーラリー北東北大会兼ジャパンマイコンカーラリー2016全国大会予選
・Basic Ciass
千葉　大聖　24・004秒　8位
小野寺一輝　25・120秒　9位
畠山　慧　25・190秒　10位
城戸口聖羽　25・870秒　11位
平野　省吾　25・890秒　12位
石川　湧我　26・880秒　13位
大石　凱登　27・170秒　14位
佐々木　丈　28・060秒　15位
浅沼　健太　29・070秒　16位
木村　諒司　リタイヤ
下坂　晃紀　リタイヤ
伊藤　圭司　リタイヤ
平賀　瑞季　リタイヤ
・Advanced Ciass
畠山　航　18・880秒　6位
川村　大智　リタイヤ
木村　信五　リタイヤ
●第21回ジャパンマイコンカーラリー2016全国大会
・Advanced Ciass
畠山　航　リタイヤ

今年度の進路状況について

進路指導部長　久保田　懐

本校は総合的専門高校として進路が多岐にわたり、2月現在の進路内定状況は表の通りになります。

今年度は高卒求人が好調で増加したこともあり、民間就職は希望者76名全員が12月末をもって内定を頂きました。地域別では管内、県内就職併せて50名は66％（昨年は65％）で、およそ希望者3人に対し、2人が管内、県内就職となります。就職対策として、面接指導は勿論、この学年は2年生の3月から継続的にSPI講習を実施し、筆記試験への対応を図りました。それでも尚、不採用の理由の中には、筆記試験が基準を下回るもありました。これからの1、2年生の諸君には基礎学力の伸長に努めて下さい。

公務員就職では、希望者15名に対し、内定が10名でした。内訳は国家公務員1名、県職員1名花巻・北上市役所4名、花巻消防組合2名、県警事務1名、自衛隊1名とかなりの好成績であったと思われます。公務員対策として、これまでの2年生冬からの課外、昼休みの適性練習等をさらに充実させ、現役高校生の良さを発揮できるよう取り組んでいきます。

進学では、初の宮城大学事業構想学部合格、岩手大学理工学部2名合格、日本大学経営学部合格、県立大学ソフトウエア学部3名合格など、学科の学習内容をさらに深めようと36名が大学短大に進学します。また、看護、リハビリテーション等医療系の上級学校にも果敢に挑戦し合格しています。専門学校を目指した生徒は、何を学びたいのか明確な目標を持ち、しっかりした学校の選択ができたと思います。しかし、進学の希望者全員が第1志望に合格したわけではありません。進学希望の1、2年生の諸君には志望校の早期決定、志望校研究、学習習慣の確立に努めていかなければなりません。

就職でも進学でも自分の進路を決めることは、簡単にできることではありません。1、2年生は、自分の将来について考え、進路先について調べ、自分の実力を高め、進路実現に向けた準備を始めましょう。これからも教員が生徒と一体になって、希望する進路実現を目指し取り組んでいきます。今後とも保護者の皆様のご協力をお願いします。

平成27年度 進路状況（人数/％）　（2/12現在）

	情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科		合計	
民間就職	24	59%	39	47%	13	33%	76	47%
公務員	1	2%	8	10%	1	3%	10	6%
四年制大学	6	15%	12	14%	4	10%	22	13%
短期大学	3	7%	2	2%	9	23%	14	9%
専門学校	7	17%	19	23%	12	31%	38	23%
未定	0	0%	3	4%	0	0%	3	2%
合計	41		83		39		163	

3学年PTA報告

3学年長　坂牛　祐司

今年度の3学年PTAは、5月8日㈮と、11月9日㈪の2回実施しました。ご多忙中にもかかわらず、5月は68名、11月は124名の保護者の皆様のご出席をいただきました。改めまして、感謝申し上げます。

5月の学年PTAでは、学年概況と、進路について説明させていただきました。特にも、進路の件につきましては、進路指導部より進路指導方針・出願推薦要件等確認事項・進路別情報等の説明と情報の提示をさせていただきました。3学年の最大の目標でもある進路希望の実現に向けて、学校と保護者様との間で共通認識を持つ良い機会となりました。

11月の学年PTAでは、進路指導部からは進路状況の中間報告、生徒指導部からは在学中の自動車教習所通所にかかわる説明をさせていただきました。自動車教習所通所に関しては校内で幾つかの厳密なルールがあり、今回の説明を通し保護者様のご理解とご協力をいただきました。

学年PTAの開催は、3学年PTA委員長　藤原秀司様をはじめとして保護者の方々の多数のご出席がなければ成立しません。本校の教育活動に関する保護者様の高い関心と本校へのご協力に、改めまして御礼申し上げます。

おかげさまをもちまして、今年度の3年生は民間就職・公務員・進学のいずれも、順調に進めることができました。生徒のたゆまぬ努力は勿論のこと、保護者様の的確なお導きや叱咤激励があってこその結果です。

卒業後は、さまざまな困難や理不尽な出来事に、数多く遭遇することでしょう。しかし、3年間の高校生活で身につけた智恵、そして保護者様からの経験に基づくアドバイスを受け、それらの困難などに毅然とした態度で臨み、自分の行く道を自力で切り開いて行けるものと信じています。そして、その勇姿が後輩達の目標やあこがれとなり、「青雲ブランド」が脈々と続いていくことを願っています。

2学年PTA報告

2学年長　加藤　啓

11月5日㈭、2学年PTAを本校多目的室にて開催しました。授業参観も含めての開催でしたので保護者の皆様にはご子息の学校の様子もうかがうことが出来たのではと考えております。学年PTAではご多忙中にもかかわらず、97名の保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

開会行事では昨年に引き続き、熊谷PTA2学年委員長と本校校長よりご挨拶をいただき、報告・説明では、学校概況、進路状況について、進路部長から進路先決定に向けてのポイントと今年度受付求人企業一覧をもとに就職・進学・公務員の3つについて現状と次年度に向けての説明を受けました。今後は進路希望調査を受け、保護者の皆様とは連携を取りながら進路達成に向けて進めていきたいと考えております。また、12月1日㈫～12月5日㈯にかけての4泊5日の修学旅行については事前準備と生徒の心構え、委託業者の東武トップツアーズ株式会社担当者より旅行内容について保護者の皆様にご確認いただきました。伊勢・関西方面と内容も充実しておりますので体調管理を整えて楽しい修学旅行にしたいものです。学級懇談は各クラス毎、担任中心にクラス概況や情報交換・意見等有意義な時間になったようです。

来年度は進路決定の時期となります。社会に出るため必要な基本姿勢や実力を高めながら、ご子息の目標達成に向け、保護者の皆様には一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、2学年PTAの報告とさせていただきます。

1学年PTA報告

1学年長　村上　宏文

12月4日㈮に1学年PTAを本校多目的室にて開催しました。開会行事では吉田PTA1学年委員長と副校長よりご挨拶をいただき、学校概況や今後の進路先決定を家庭でどのように進めていけば良いのかなど様々なお話をいただきました。報告・説明では1学年の現状報告として4月から現時点までの行事活動報告や前期末考査の成績概況報告について10分程度説明があり、教務部からは2年生での進路別・コース別選択の科目を決定するうえで考えて欲しいこと、進路部からは今年度の進路状況報告と進路先を考えるうえでの判断材料など教務・進路部からそれぞれ20分程度説明がありました。今回の資料やお聞きした内容は、保護者の方々がご子息と進路先や選択科目決定について話し合ううえでの参考にしていただければと思います。学級懇談は各クラス場所を変えて行われ、クラス概況や情報交換・意見等、有意義な時間になったようです。

保護者の皆様にはご多用中の中ご参加いただき感謝申し上げます。また今後もご子息の目標達成に向けて支援していきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

3年間の軌跡

◉皆勤賞

3A
浅沼　健太
伊藤　友哉
佐々木主眞
笹森　耀平
関　祐希
髙橋　陸
宅萬　航
谷藤　圭吾
藤田　聖隆
藤村　瞭
牧野　優樹
森山　琢海
湯澤　直希

3B
宇津宮雄大
菊池　祐樹
菊池　涼太
千葉　大
藤原　望夢
菊池麻衣子
佐藤　瑞穂
鈴木えみり
髙橋　望佳
猫塚美冴希
畠山　静花
平賀　朝妃
平澤　梨華
森山　穂好
和田　茅

3C
佐々木泰芽
田中　悠規
千葉康太郎
米田　一真
鎌田　彩花
菊池奈々佳
斎藤　聖奈
佐藤　佳奈
鷹觜　美咲
髙橋　佑佳
筑後　綾乃
中島　葵
藤原　佳穂

3D
大坊　拓海
渥美　百恵
齋藤　結鈴
佐々木杏奈
佐々木郁美
佐藤　友紀
佐藤　里緒
竹内　優衣
花輪　菜摘
稗貫　祥子
藤原なつめ
三浦　靖佳
八重樫彩菜
八重樫杏子

◉精勤賞

3A
近藤　拓也
佐々木勇輔
髙野橋直希
中井　丞
長坂壮太郎
藤井　雄太
堀田　亮誠
羽澤　慶夏

3B
木村　竜仁
竹田　悠馬
阿部　桃果
小林　知央
佐藤百合愛
菅谷　偲乃
長瀬みなみ
平野　実咲

3C
髙橋　拓夢
佐々木玲奈
玉山可奈子
山口　里桜

3D
阿部　葵
菅　亜美
簡　紗羅
髙橋　結菜
兎澤　香奈
藤嶋　美帆
吉村　朋華

◉学業優秀賞

3A
佐々木主眞
髙橋　陸

3B
大山　恵実
小林　知央
菅谷　偲乃
鈴木えみり
平野　実咲

3C
吉田　清流
金子　杏奈
佐々木麗衣
佐々木玲奈
佐藤安里紗
佐藤　未菜
中島　葵

3D
佐々木杏奈
稗貫　祥子
三浦　靖佳

生徒会功労賞（県大会優勝または最優秀賞、東北大会入賞、全国大会に出場した団体または個人）

(1)第67回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技　女子学校対抗　優勝
インターハイ出場（２回戦進出）
第44回東北高等学校バドミントン選手権大会　女子学校対抗　ベスト３
久慈　裕美（３B）・野田　彩瑛（３B）・畠山　静花（３B）
中島　葵（３C）・外川　実空（２B）・金野　夕香（２D）
藤井　愛（２D）

(2)第55回岩手県高等学校新人大会バドミントン競技　女子学校対抗　優勝
選抜東北大会　ベスト４
外川　実空（２B）・下瀬川ユリア（２C）・金野　夕香（２D）
藤井　愛（２D）・市原　杏奈（１B）・菊川　優月（１C）
佐々木良幸（１D）・佐藤　綾乃（１D）

(3)第67回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技　女子ダブルス優勝
インターハイ出場（２回戦進出）
第60回岩手県種目別バドミントン選手権大会　少年女子シングルス優勝
畠山　静花（３B）・中島　葵（３C）

(4)第67回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
女子ダブルス第２位・インターハイ出場
第44回東北高等学校バドミントン選手権大会　女子ダブルス　ベスト８
第55回岩手県高等学校新人大会　バドミントン競技　女子ダブルス　優勝
選抜東北大会　ベスト８
第60回岩手県総合バドミントン選手権大会　女子ダブルス優勝
藤井　愛（２D）・金野　夕香（２D）

(5)第67回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
女子シングルス優勝・インターハイ出場
第60回岩手県種目別バドミントン選手権大会　少年女子シングルス優勝
第60回岩手県総合バドミントン選手権大会　女子シングルス　優勝
畠山　静花（３B）

(6)第67回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
女子シングルス第２位・インターハイ出場
藤井　愛（２D）

(7)第55回岩手県高等学校新人大会　バドミントン競技
女子シングルス　優勝・東北大会出場　金野　夕香（２D）

(8)第67回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
男子ダブルス第２位・インターハイ出場
髙橋　拓夢（３C）・藤原　望夢（３B）

(9)第16回岩手ＩＴ記念岩手県高等学校選抜バドミントン大会
男子学校対抗優勝
小原　楓雅（２A）・伊藤　賢哉（２C）・佐々木大誠（２A）
及川　爽（２A）・三浦　大（１A）・吉田　侑生（１A）
内記　敏徹（１A）

(10)平成27年度岩手県高等学校文芸コンクール　随筆部門　優秀賞
第30回全国高等学校文芸コンクール　随筆部門　入選
佐藤　未菜（３C）

(11)ジャパンマイコンカーラリー２０１５北東北大会　入賞
同　全国大会　アドバンスドクラス出場
畠山　航（２A）

(12)平成27年度岩手県高等学校珠算・電卓競技大会
珠算部門個人総合第２位
同　全国大会出場　来田　桃子（２B）

(13)平成27年度岩手県高等学校情報処理競技大会　佳良賞
全国高等学校情報処理競技大会出場　大山　恵実（３B）

(14)岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会　ホームプロジェクトの部　最優秀賞
東北連盟大会　優秀賞
根口　朋美（２D）・菊池　亜実（２D）・朝倉　理奈（２D）

(15)平成27年度岩手県専門高等学校生徒の産業に関する研究文・作文コンクール
研究文の部　最優秀賞
同　全国大会入賞　佐々木郁美（３D）

(16)岩手県商業高等学校　英語スピーチコンテスト
レシテーション部門　第１位　小原　千奈（２C）

(17)第６回高校生「調理・製菓」コンテストチョリコン決勝大会
製菓の部　最優秀賞　髙橋　拓花（２D）

(18)第65回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
スローガン公募　最優秀賞　滝澤　遥菜（１D）

平成27年度・第50回 校内ロードレース大会結果

●特別表彰（50位）
1A 盛山　龍人
2B 鳥谷部朋伽

●連続栄誉賞
3A 牧野　優樹（陸上競技）
3B 畠山　静花（バドミントン）
3C 中島　葵（バドミントン）

男子 8km

順位	年組	名前	所属部	記録
1位	3A	牧野　優樹	陸上競技	27分11秒
2位	2C	加藤　学	陸上競技	27分39秒
3位	1B	阿部　響	陸上競技	27分46秒
4位	1A	三浦　大	バドミントン	27分47秒
5位	3C	千葉康太郎	陸上競技	28分36秒
6位	1A	晴山　慶祐	陸上競技	28分37秒
7位	3C	佐藤　雅哉	サッカー	28分44秒
8位	2A	野田　瑞貴	バドミントン	28分48秒
9位	1A	内記　敏徹	バドミントン	29分５秒
10位	1C	佐藤　篤樹	ソフトテニス	29分14秒

女子 4km

順位	年組	名前	所属部	記録
1位	2D	佐々木果南	陸上競技	15分57秒
2位	2D	金野　夕香	バドミントン	16分７秒
3位	2D	藤井　愛	バドミントン	16分10秒
4位	1B	市原　杏奈	バドミントン	16分12秒
5位	3C	中島　葵	バドミントン	16分41秒
6位	1C	松田　奈那	陸上競技	16分51秒
7位	3B	畠山　静花	バドミントン	16分55秒
8位	1D	鎌田　映有	ソフトボール	17分１秒
9位	2A	佐々木涼音	バドミントン	17分11秒
10位	2B	佐々木美来	陸上競技	17分16秒

漢字テスト年間上位者

順位	学年	ｸﾗｽ	番号	名前	平均得点
1	3	C	25	佐藤安里紗	29.8
2	3	D	31	稗貫　祥子	29.6
3	3	B	17	大山　恵実	29.5
4	1	B	25	齋藤　晴香	29.4
4	1	C	34	髙橋　真歩	29.4
6	2	D	41	八重樫里菜	29.0
6	3	B	28	菅谷　偲乃	29.0
8	2	C	28	下瀬川ユリア	28.8
8	2	D	7	川村　梨菜	28.8
8	3	B	18	小野寺　咲	28.8

（30点満点）

平成27年度 ありがとうございました

PTA役員（敬称略）

会　長
堀田　圭二

副会長
藤原　秀司
熊谷　利昭
吉田　豊
辻村ゆかり
菊池　きみ
岡田　知穂
藤原　政光
畠山　勝憲
小原　和雄（校長）

母親委員代表
畠山　明美

監　事
藤原　秀樹
中村　琴美
宍戸　広子

理　事
◎3学年
委員長
藤原　秀司（校外生活指導）
副委員長
辻村ゆかり（広報）
理　事
佐藤　晴美（広報）
藤嶋美代子（校外生活指導）
藤原　秀樹（学習）
堀田　圭二（学習）
佐藤　久美（環境整備）
畠山　明美（母親）
八重樫千秋（母親）
菊池菜穂子（母親）
簡　明美（母親）

◎2学年
委員長
熊谷　利昭（校外生活指導）
副委員長
菊池　きみ（母親）
岡田　知穂（広報）
理　事
髙橋由紀子（広報）
小原　一浩（校外生活指導）
鎌田　博子（学習）
武田　雪恵（学習）
大石　伸（環境整備）
木村ゆかり（環境整備）
金谷　由香（母親）
中村　琴美（母親）
藤根　和可子（母親）

◎1学年
委員長
吉田　豊（学習）
副委員長
藤原　政光（校外生活指導）
畠山　勝憲（環境整備）
理　事
箱崎　悦子（広報）
泉澤美恵子（広報）
瀬川　悦子（校外生活指導）
黒沢　美鶴（学習）
宍戸　広子（環境整備）
小原　瑞子（母親）
小原　早苗（母親）
晴山てるみ（母親）
浅利　佳代（母親）

PTA事務局日誌

平成27年
4月8日(水)…入学式、PTA入会式、PTA必携発行
4月9日(木)…PTA監査
4月10日(金)…1学年PTA理事会
4月17日(金)…第1回役員会
5月7日(木)…中部地区PTA連絡協議会
5月8日(金)…PTA理事会・PTA総会
5月27日(水)…PTA専門委員会
（母親、校外指導生活、広報、環境整備、学習）
6月5日(金)…岩手県高P連定期総会
6月18日(木)…第2回役員会
7月3日(金)…東北高P連青森大会
8月6日(木)…PTA環境整備活動
8月13日(木)…「石鳥谷夢まつり」校外指導
8月19日(水)～21日(金)…第65回全国高P連岩手大会
8月22日(土)…「光と音のページェント」花火大会校外指導
9月8日(火)～10日(木)…「石鳥谷まつり」校外指導
9月11日(金)～13日(日)…「花巻まつり」校外指導
9月25日(金)…PTA会報第92号発行
9月25日(金)…第3回役員会
10月15日(木)…ロードレース大会ドリンク提供
10月18日(日)…青雲祭PTA展示食堂「おふくろ亭」
10月23日(金)…PTA校外生活指導委員会岩っ子いきいきサポート作戦
10月28日(水)…岩手県高P連母親委員会交流会
11月5日(木)…2学年PTA
11月6日(金)～7日(土)…岩手県高P連会長研修会
11月6日(金)…岩手県高P連事務局長研修会
11月9日(月)…3学年PTA
11月13日(金)…PTA研修旅行、工場見学
11月23日(月)…中部地区母親委員会交流会
12月4日(金)…1学年PTA
平成28年
1月30日(土)…第2回母親委員会
2月12日(金)…第4回役員会
2月29日(月)…PTA会報第93号発行
3月1日(火)…卒業式

1年間ありがとうございました

平成27年度　PTA広報委員会

委員長　辻村　ゆかり
副委員長　佐藤　晴美
委員　髙橋　由紀子
岡田　知穂
箱崎　悦子
泉澤　美恵子

PTA会報第93号が完成いたしました。
今後もよりよい紙面にするために、保護者からのご意見・要望を募集しています。
広報委員会までお寄せください。

TEL 0198-45-3731　FAX 0198-45-3746
〒028-3172　花巻市石鳥谷町北寺林 11-1825-1
花北青雲高校　総務部 宛